Nanpuh Hospital

2021年度

Annual report

年　報

公益社団法人鹿児島共済会

南風病院

Nanpuh
Hospital

デザインモチーフには、「木の葉」を用い、さわやかさ、瑞々しさを表しています。3色の線は、それぞれ患者さま、地域社会、病院、をあらわし、これからの医療に求められる協働や連携を意味すると同時に、その豊かなつながりを意図としています。完全に閉じられていない右端は、これからの病院の発展の可能性とオープンマインドを象徴したものです。

目　次

経営理念……1
患者さまの権利について……1
1年間の主な出来事 ……2
病院概要……3
病院案内……5
交通アクセス ……6
医療機器･設備 ……7
沿革 ……8
病院組織図 ……9
委員会組織図……10
研究業績……13
医療統計……21

理 念

- 人にやさしく あたたかく

基 本 方 針

- 医療を通して地域社会に貢献する
- 患者さま本位の診療を行う
- 最新の医療の提供に努める
- 活力に満ち、働きがいのある職場を目指す
- 病院として健全な発展を続ける

患者さまの権利について

私たちは、患者さまと医療従事者が新たな信頼関係を確立し、互いに手をとりあって、
より良い医療を実現するため、患者さまの権利を尊重します

- 全ての患者さまは、平等で最善の医療を受けることができます
- 医師から十分な説明を受け、治療を受けること、あるいは治療を拒否することができます
- 医師の説明に納得できない場合は、他の医療機関（医師）の説明を受けることができます
- ご自分の健康に関する状況を正しく知るため、必要な情報を求めることができます
- 患者さまの医療上の秘密、および個人的秘密は厳重に守られます

患者さまへのお願い（責務）

患者さまが医療に主体的に参加できるように、パートナーシップをとっていただきますように、
ご協力をお願いします。

- 患者さまの健康に関する情報は、できる限り正確に医療従事者に提供してください
- 医師の説明は理解できるまで質問し、指示されたことを守り治療に専念してください
- 病院の規則を守り、他の患者さまの迷惑にならないよう配慮してください

1年間の主な出来事

年　　月	内　　容
2021年　4月	辞令交付式
	新入職者研修
2021年　5月	第1回理事会
2021年　6月	防火・防災訓練
	全体研修
	第２回理事会
2021年10月	全体研修
	第３回理事会
	第１回南風病院地域医療支援委員会
	慰霊祭
2021年11月	緩和ケア研修会
2021年12月	第４回理事会
	防火・防災訓練
	公益法人監査
2022年　1月	年始式
	全体研修
	高齢者・健康長寿医療センター　運営開始
2022年　3月	第５回理事会
	第２回南風病院地域医療支援委員会
	全体研修

病院概要

（2021年4月現在）

名　　称	公益社団法人鹿児島共済会　南風病院
所　在　地	〒892-8512　鹿児島市長田町14番3号
代表電話	099-226-9111
代表ファックス	099-223-1573
開　設　者	公益社団法人鹿児島共済会　理事長　貞方　洋子
管　理　者	院長　末永　豊邦
敷地面積	18,948平方メートル
延床面積	23,348平方メートル
許可病床	338床
看護基準	7対1
職　員　数	765名(2021年4月1日現在)
有資格者数 （※休職者含む）	医　師　常勤　69名　非常勤32名（研修医含む）
	看　護　師　常勤　319名　非常勤　17名
	准看護師　常勤　6名　非常勤　3名
	薬　剤　師　常勤　20名
	診療放射線技師　常勤　22名
	臨床検査技師　常勤　23名　非常勤　3名（病理含む）
	臨床工学士　常勤　12名
	理学療法士　常勤　22名
	作業療法士　常勤　1名
	言語聴覚士　常勤　2名
	管理栄養士　常勤　5名
	社会福祉士　常勤　6名
	診療情報管理士　常勤　26名
関連施設	療養通所介護事業所　みなみ風
	居宅介護支援事業所　みなみ風
	訪問看護ステーション　みなみ風
	看護小規模多機能型居宅介護事業所　みなみ風

（2021年10月現在）

学会等認定一覧
日本内科学会専門研修基幹施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本がん治療認定医機構認定研修登録施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
日本呼吸器学会認定施設
日本呼吸器外科学会認定修練関連施設
日本消化器病学会認定施設
日本消化器内視鏡学会認定指導施設
日本消化管学会胃腸科指導施設
日本カプセル内視鏡学会指導施設
日本大腸肛門病学会認定施設
日本透析医学会認定施設
日本急性血液浄化学会認定指定施設
日本肝臓学会認定施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本整形外科学会認定研修施設
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
日本手外科学会認定手外科専門医制度関連研修施設
日本脳神経外科学会専門医認定指定訓練施設
日本認知症学会教育施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本核医学会専門医教育病院
日本麻酔学会認定麻酔指導病院
日本ペインクリニック学会指定研修施設
日本静脈経腸栄養学会・NST稼動認定施設
日本緩和医療学会認定施設
日本神経学会准教育施設

鹿児島県がん診療指定病院

地域医療支援病院

へき地医療拠点病院

臨床研修指定病院

日本医療機能評価機構認定病院

DPC対象病院（医療機関群Ⅲ群）

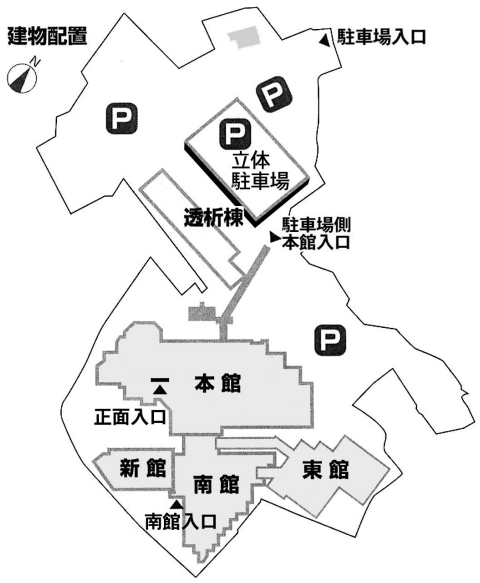
指定医療機関等
保険医療機関
社会保険法指定医療機関
国民健康保険法療養取扱医療機関
一般病院（全338床）
救急告示医療機関
労災保険指定医療機関
特定疾患治療研究事業委託医療機関
小児慢性特定疾病指定医療機関
結核予防法指定医療機関
原子爆弾被爆者指定医療機関
母子保健法指定養育医療機関
生活保護法指定医療機関
戦傷病者特別援護指定医療機関
病院群輪番制医療機関
医薬品等安全性情報協力施設（厚生労働省）
肝炎治療特別促進事業指定機関
全国健康保険協会管掌健康保険　生活習慣病予防健診等委託機関
障害者自立支援法（更生医療、育成医療、精神通院医療）指定医療機関

基本診療料施設基準一覧
一般病棟入院基本料〔急性期一般入院基本料1〕
臨床研修病院入院診療加算〔基幹型〕
救急医療管理加算
診療録管理体制加算1
医師事務作業補助体制加算1〔15対1〕
急性期看護補助体制加算〔25対1〕（看護補者5割以上）
看護職員夜間12対1配置加算1
乳幼児加算・幼児加算
難病患者等入院診療加算
重症者等療養環境特別加算
重症皮膚潰瘍管理加算
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算1
医療安全対策地域連携加算1
感染防止対策加算1
感染防止対策地域連携加算
抗菌薬適正使用加算
患者サポート体制充実加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
呼吸ケアチーム加算
後発医薬品使用体制加算2
病棟薬剤業務実施加算1
データ提出加算2（イ200床以上の病院）
提出データ評価加算
入退院支援加算2
認知症ケア加算1
精神疾患診療体制加算
ハイケアユニット入院医療管理料1
地域包括ケア病棟入院料2
看護職員配置加算
看護補助者配置加算
緩和ケア病棟入院料1

特掲診療料施設基準一覧
悪性腫瘍特異物質治療管理料
小児特定疾患カウンセリング料
小児科療養指導料
難病外来指導管理料
外来栄養食事指導料
入院栄養食事指導料
集団栄養食事指導料
植込型除細動器移行期加算（心臓ペースメーカー指導管理料）
糖尿病合併症管理料
小児運動器疾患指導管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料 1・2・3
糖尿病透析予防指導管理料
乳幼児育児栄養指導料
院内トリアージ実施料
夜間休日救急搬送医学管理料
救急搬送看護体制加算
外来リハビリテーション診療料
ニコチン依存症管理料
開放型病院共同指導料
がん治療連携計画策定料
外来がん患者在宅連携指導料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 1
造血器腫瘍遺伝子検査
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
デングウイルス抗原定性及びデングウイルス抗原・抗体同時測定定性
検体検査管理加算（Ⅰ）（Ⅳ）
植込型心電図検査
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
ヘッドアップティルト試験
神経学的検査
画像診断管理加算 1・2
ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
CT撮影及びMRI撮影
冠動脈CT撮影加算
大腸CT撮影加算
心臓MRI撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算 1
無菌製剤処理料
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）初期加算
廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）初期加算
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算
がん患者リハビリテーション料
硬膜外自家血注入
人工腎臓　慢性維持透析を行った場合1
導入期加算2
透析液水質確保加算2
下肢末梢動脈疾患指導管理加算　連携医療機関：鹿児島大学病院
慢性維持透析濾過加算
骨移植術（軟骨移植述を含む）+自家培養軟骨移植述
後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る
腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
胆管悪性腫瘍手術L膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る
腹腔鏡下肝切除術（1.部分切除　2.外側区域切除　3.亜区域切除　4.1区域切除　5.2区域切除　6.3区域切除以上のもの）（平成29年　肝切除関連28例）
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術（平成29年　膵切除関連34例）
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術（平成29年　粘膜下層剥離術112例）
腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6（歯科点数表第2章第9部手術の通則4を含む。）に掲げる手術
胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）
輸血管理料（Ⅰ）
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
麻酔管理料（Ⅰ）
麻酔管理料（Ⅱ）

病院案内

病院案内



公益社団法人鹿児島共済会 **南風病院**
〒892-8512　鹿児島県鹿児島市長田町 14-3
電話：099-226-9111（代表）/ FAX：099-223-1573

診療科目

内科	呼吸器外科
糖尿病・内分泌内科	消化器外科
呼吸器内科	脳神経外科
循環器内科	整形外科
消化器内科	リハビリテーション科
腎臓内科	リウマチ科
人工透析内科	小児整形外科
脳神経内科	放射線科
肝臓内科	麻酔科
ペインクリニック内科	病理診断科
緩和ケア内科	老年内科（2021年11月～）
外科	

診療受付時間

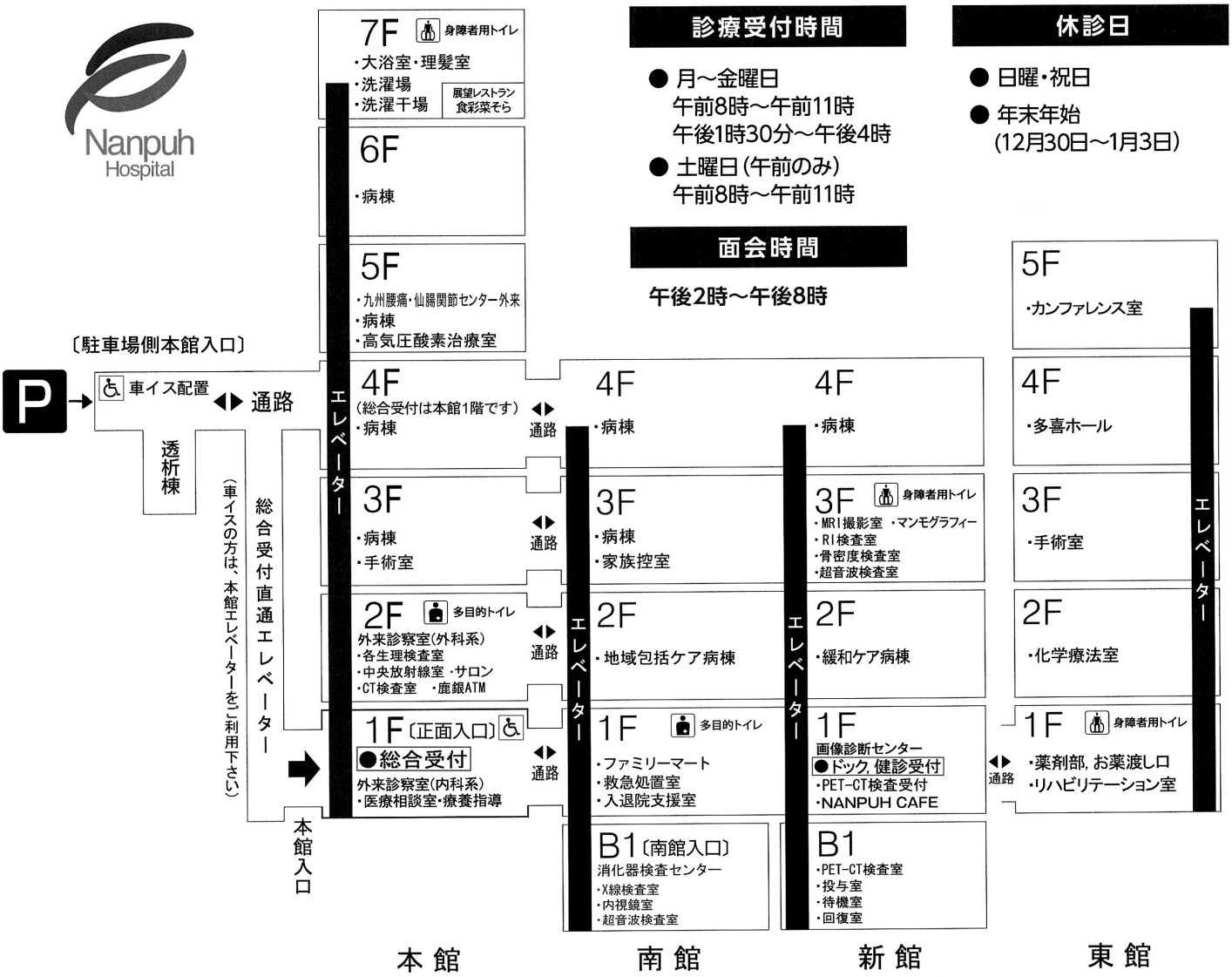
- 月～金曜日
  午前8時～午前11時
  午後1時30分～午後4時
- 土曜日（午前のみ）
  午前8時～午前11時

休診日

- 日曜・祝日
- 年末年始
  （12月30日～1月3日）

面会時間

午後2時～午後8時



交通アクセス

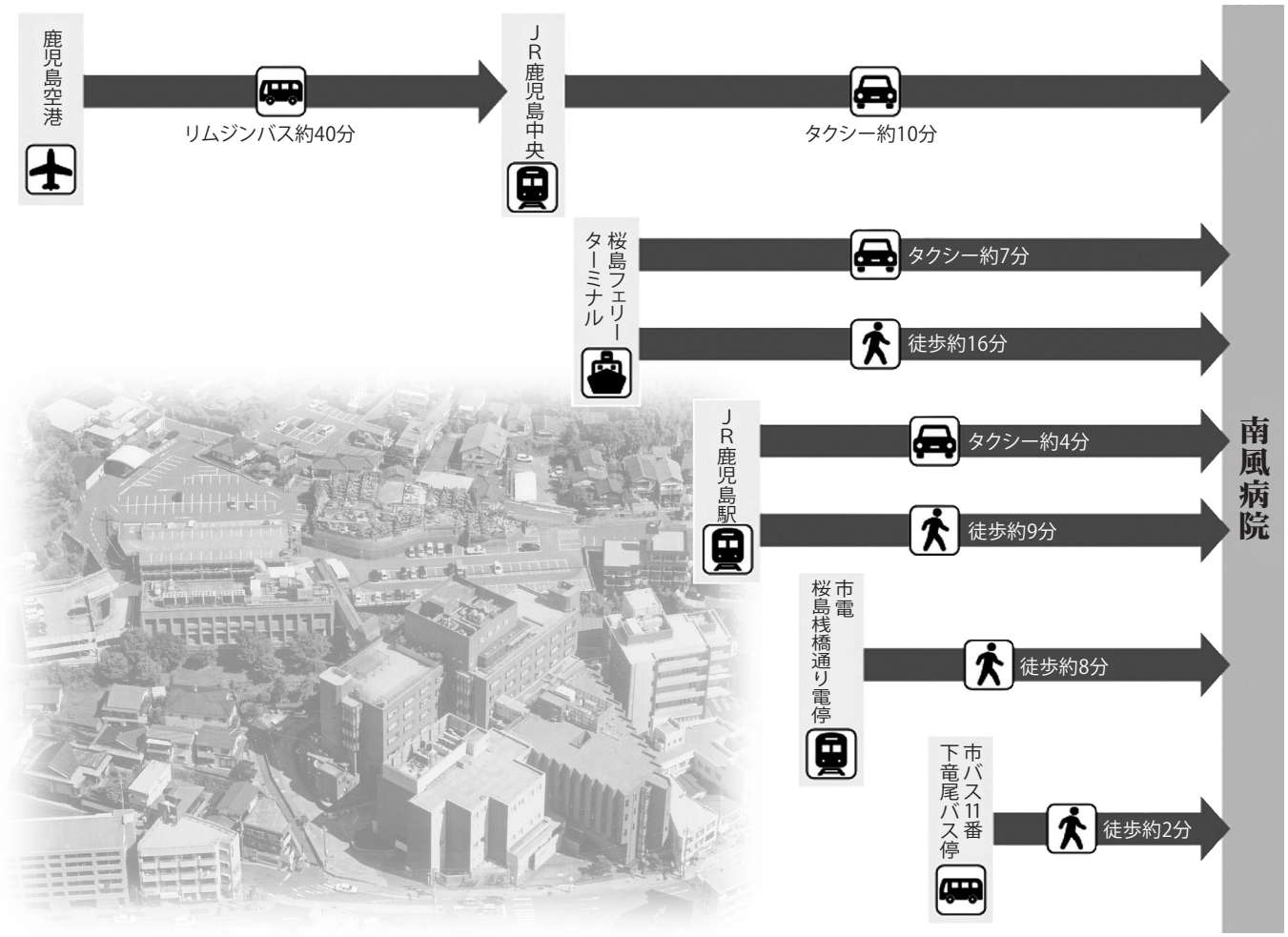
■遠方からご来院の方へ（宿泊施設のご案内）

当院は、遠方の方でも安心して来院できるように近隣の宿泊施設のご案内を致しております。また、提携ホテルご宿泊の割引きサービスも行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

■駐車料金

・診察の方は無料。診察受け付け時に総合受付へ駐車券をご提出ください。
・入退院、手術当日（家族の方）は無料。病棟にて所定の印をもらい、総合受付へ駐車券をご提出ください（時間外は守衛室へ）
・お見舞い、付き添い、業者の方は有料（1時間につき100円。30分まで無料）

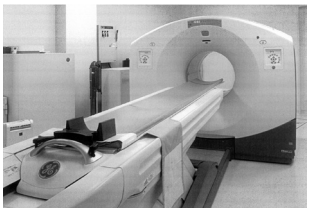
■各種公共交通機関



医療機器・設備

（2021年4月現在）

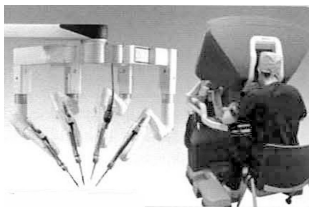
PET／CT （2台）



PETから得られる薬の臓器への移動（代謝）画像とX線CTから得られる臓器の形（形態）画像を重ね合わせて、正確に診断することができる装置です。

ダヴィンチ

最先端手術支援ロボット



ダヴィンチは最先端の手術支援ロボットであり、世界中で利用されている腹腔鏡手術を支援する内視鏡下手術支援ロボットです。
当院では2016年1月より胃がんと大腸がんの手術を行っています。

サイクロトロン

PET検査で使用するポジトロン核種を作るための装置です。ポジトロン核種は、半減期が非常に短いため、病院内で生成しています。

3.0T-MRI

MRI検査とは磁石の力で人体のいろいろな方向の輪切りや縦切りの画像を取るもので、脳や脊椎、骨盤、手足の関節の撮影に向いています。

64列マルチスライスCT

CT検査はX線を利用して人体の輪切りを画像にする検査です。
短時間で胸腹部などの広い範囲を細かく撮影でき、また血管や骨などの三次元表示が可能です。

IVR-CT

血管撮影装置と高性能CTを組み合わせる事により、従来の患者移送により施行していたCT検査と血管造影などの治療が一つの撮影室で施行出来るようになりました。

医療機器・設備

- RI（SPECT-CT）
- 血管造影装置
- 骨密度測定装置
- 気管支ファイバー
- ポータブル撮影装置2台
- X線TV装置（DR）3台
- 外科系X線TV装置（OR）2台
- 一般撮影装置（FPD）2台
- 内視鏡装置
- 高気圧酸素治療装置（HBO）
- 人工透析室（34床）
- 手術室　5室（外科・整形外科・脳外科・他）
- 脊椎内視鏡手術セット（MED）
- 集中治療室（HCU 16床）
- 心電計
- 肺機能検査装置（精密）
- 血圧・脈波装置
- 脳波計
- 筋電図・誘発電位検査装置
- 睡眠時無呼吸症候群検査装置
- ホルター心電図
- 聴力検査装置
- 眼底カメラ検査装置
- 眼圧計
- 一酸化窒素ガス分析装置
- 血管内皮機能測定
- 皮膚灌流圧測定装置
- 多項目自動血球装置
- 全自動血液凝固測定装置
- 尿自動分析装置
- 血沈
- カード用全自動輸血検査装置
- 生化学自動分析装置
- 全自動化学発光酵素免疫測定
- H-FABP測定システム
- 呼気試験測定装置
- 血中アンモニア測定装置
- 全自動蛍光免疫測定装置
- 汎用分光光度分析装置
- 自動免疫組織化学染色装置
- 自動染色装置
- 遺伝子解析装置
- 血液培養自動分析装置

沿　革

（2022年3月現在）

1954年　9月	病院開設　　管理者　桜井　之一 内科・呼吸器科標榜　　結核病棟22室96床
1957年　1月	外科標榜
1960年　2月	結核病棟144床へ増床
1963年　2月	結核病棟158床へ増床
1964年　6月	麻酔科標榜
1966年　3月	南風クリニック開設 消化器科・放射線科標榜
1966年 11月	脳神経外科標榜 一般病棟48床新設、結核病棟148床へ減床
1968年 10月	一般病棟120床へ増床、結核病棟100床へ減床
1969年　8月	別館完成 一般病棟135床へ増床
1970年 12月	人工透析開始 腎臓内科標榜
1974年　3月	一般病床235床へ増床 循環器科標榜
1978年 10月	本館完成 一般病床287床へ増床
1979年 12月	整形外科標榜
1984年 11月	管理者　院長 貞方 洋子　就任
1985年　5月	心臓血管外科標榜
1987年　3月	一般病床338床へ増床
1990年　5月	南棟竣工・消化器病センター開設
1993年 11月	肝臓内科標榜
1994年　9月	管理者　院長 西俣 寛人　就任
1995年 11月	肛門科標榜
1998年 12月	訪問看護ステーションみなみ風開設
1999年　4月	ペインクリニック科標榜 財団法人日本医療機能評価機構　病院機能認定（一般病院種別B）取得
1999年　9月	居宅介護支援事業所みなみ風開設
2004年　9月	創立50周年記念事業開催
2004年 11月	財団法人日本医療機能評価機構　病院機能認定（バージョン4）取得
2005年　8月	鹿児島県地域医療支援病院承認
2006年　4月	DPC対象病院
2006年 11月	新館竣工 画像診断センター開設
2008年　1月	外来化学療法開始
2008年 11月	特定集中室管理料（6床）取得
2009年　1月	敷地内禁煙を開始
2009年　3月	鹿児島県がん診療指定病院に指定
2009年　4月	財団法人日本医療機能評価機構　病院機能認定（Ver5.0）取得
2010年　4月	神経内科・小児整形外科・人工透析内科・消化器外科・病理診断科標榜 心臓血管外科・気管食道科・肛門科閉科
2010年　9月	公益社団法人・認定
2010年 10月	公益社団法人・移行登記
2011年　5月	東日本大震災　JMAT派遣
2011年　9月	療養通所介護事業所みなみ風開設
2012年 12月	鹿児島県へき地医療拠点病院に指定
2013年　2月	電子カルテ導入
2013年　5月	緩和ケア病棟開設 管理者　院長　福永 秀敏　就任 名誉院長　西俣 寛人　就任
2013年　9月	緩和ケア内科標榜
2014年　4月	DPC医療機関群Ⅱ群に指定（～2016年3月） 財団法人日本医療機能評価機構　病院機能認定（3rdG:Ver1.0）取得
2014年 10月	創立60周年記念事業開催「市民医療フォーラム2014」
2014年 12月	シェアハウスおとなりさん開設
2015年 10月	東館竣工
2016年　4月	熊本地震災害　JMAT派遣
2016年　5月	脊椎・関節センター設置
2016年 12月	糖尿病・内分泌内科標榜
2017年　4月	消化器検査センター設置 ぽかぽか保育園開園
2017年　8月	地域包括ケア病棟開設 ハイケアユニット病棟開設
2018年　4月	九州腰痛仙腸関節センター設置
2018年 12月	看護小規模多機能型居宅介護支援事業所みなみ風開設
2019年　1月	臨床研究審査委員会設置
2019年　4月	財団法人日本医療機能評価機構　病院機能認定（3rdG:Ver2.0）取得
2019年　7月	管理者　院長　末永 豊邦　就任
2019年 10月	呼吸器外科標榜
2020年　7月	コロナ患者受入病棟開設
2020年　9月	シェアハウスおとなりさん廃止
2020年 11月	コロナ患者受入“重点医療機関”・“診療・検査医療機関”に指定
2021年 12月	老年内科標榜
2022年　1月	高齢者・健康長寿医療センター開設
2022年　3月	訪問看護ステーションみなみ風Ⅱ開設

公益社団法人鹿児島共済会組織図

（2022年1月11日現在）

- 公益社団法人鹿児島共済会 理事会
  - 理事長
    - 経営企画室
    - 南風病院 院長
      - 副院長
      - 医療安全管理室
      - 臨床研究支援室
      - 医療連携・相談支援室
      - TQM室
      - 感染制御室
      - 化学療法室
      - 高齢者･健康長寿医療センター
      - 診療部
        - 糖尿病・内分泌内科
        - 呼吸器内科
        - 循環器内科
        - 消化器内科
          - 消化器検査センター
        - 腎臓内科
        - 人工透析内科
        - 脳神経内科
        - 肝臓内科
        - ペインクリニック内科
        - 緩和ケア内科
        - 外科
        - 消化器外科
        - 呼吸器外科
        - 脳神経外科
        - 整形外科
          - 脊椎センター
          - 人工関節センター
          - 腰痛仙腸関節センター
        - 小児整形外科
        - リウマチ科
        - リハビリテーション科
        - 放射線科
        - 麻酔科
        - 病理診断科
      - 薬剤部
        - 薬剤科
      - 看護部
        - 看護部長室
        - 6階病棟
        - 5階病棟
        - 4階病棟
        - 4階東病棟
        - 4階南病棟
        - 3階病棟
        - ICU
        - 2階病棟
        - 緩和ケア病棟
        - 手術室（中央材料室）
        - 透析室
        - 外来
        - 消化器検査センター
        - 高齢者･健康長寿医療センター
      - 放射線技術科
      - 臨床検査科
      - 臨床病理検査科
      - 超音波検査科
      - 臨床工学科
      - リハビリテーション科
      - 栄養科
      - 健診部
      - 事務部
        - 人事課
          - 人材開発室
        - 経理課
        - 医事課
        - フロントサービス課
        - 医療支援課
        - 広報課
        - 情報システム課
        - 総務課
        - 管財課
        - 施設管理課
      - 栄養サポートチーム
      - 呼吸ケアサポートチーム
      - 緩和ケアチーム
      - 認知症ケアチーム
      - 委員会
        - CP委員会
        - ICU運営委員会
        - 手術室運営委員会
        - NST委員会
        - 栄養管理委員会
        - 医療安全管理委員会
        - 医療ガス安全委員会
        - 医療材料審議委員会
        - 院内感染対策委員会
        - 衛生委員会
        - 外来運営委員会
        - 癌化学療法委員会
        - 患者サービス委員会
        - がん診療運営委員会
        - 緩和ケア委員会
        - 機器購入委員会
        - 呼吸器ケアサポート委員会
        - 昇格審査委員会
        - 賞罰委員会
        - 情報管理委員会
        - DPC委員会
        - 褥瘡対策委員会
        - 治験審査委員会
        - 透析機器安全管理委員会
        - 病床管理委員会
        - 防災対策委員会
        - 薬事委員会
        - 輸血療法委員会
        - 利益相反委員会
        - 臨床研究倫理審査委員会
        - 臨床検査委員会
        - 臨床倫理委員会
        - 臨床研修管理委員会
        - 医師･看護師負担軽減委員会
        - がん登録委員会
        - 救急委員会
    - 在宅ケアサポートみなみ風 所長
      - 訪問看護ステーションみなみ風
      - 居宅介護支援事業所みなみ風
      - 療養通所介護事業所みなみ風
      - 看護小規模多機能型居宅介護事業所みなみ風

委員会組織図

（2021年4月現在）

管理会議

委員会名	役　　割
CP委員会	臨床における具体的なパスの導入、運用、改善及びその成果の普及を図る。
ICU運営委員会	安全かつ適切な集中治療室運営を図るため、重要な事項を審議する。
手術室運営委員会	安全かつ適切な手術室運営を図るため、重要な事項を審議する。
NST委員会	患者の栄養管理及び食事療養業務に関することを検討、審議する。
栄養管理委員会	患者の食事に関して多くの部署で協議をし、業務の向上に努める。
医療安全管理委員会	安全な医療を提供するとともに、医療事故等が発生した場合の適切な対応を協議する。
医療ガス安全委員会	医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。
医療材料審議委員会	医療材料の購入・管理・使用等に関し、組織全体のことを考慮し適正かつ効率的な執行を図る。
院内感染対策委員会	院内の感染防止に関する事項を審議し、その予防対策に努める。
衛生委員会	職員の疾病予防と健康の維持増進を図る。
外来運営委員会	外来部門（救急受け入れ患者を含む）の運営を検討、改善する。
癌化学療法委員会	当院における癌化学療法の現状を認識し、治療が円滑に施行されるように検討する。
患者サービス委員会	患者の要望に沿った各種施策を推進することにより、患者の満足度を高め、患者本位医療の現実を図る。
がん診療運営委員会	がん診療、がん患者支援に対する横断的な体制整備と向上を目指す。
緩和ケア委員会	緩和ケアに対する職員の意識とレベルの向上を図り、効果的な緩和ケア支援システムを構築する。
機器購入委員会	医療器機、設備等の高額物品購入案件に関して審議する。
救急委員会	救急指定医療機関としての診療機能を踏まえ地域の医療機関・救急隊と連携をとりながら、地域住民の救急医療を確保する。
昇格審査委員会	職員の昇格について、厳正公平に審査し、組織における指揮、監督及び指導の強化、並びに幹部職員の能力と資質の向上を図る。
賞罰委員会	組織としての秩序を守り、より良い職場環境を築くため、規律・風紀を乱す者についての懲戒処分、賞賛に値する者についての表彰を行う。
情報管理委員会	情報（診療情報、個人情報を含む）の管理方法を検討し、院内統一した運用を図り、情報管理を適正に行うための施策を検討、審議する。
DPC委員会	DPCの運用を円滑にするための施策を検討、審議する。
褥瘡対策委員会	院内褥瘡対策を討議、検討し、褥瘡の治療をおこなうとともに、発生予防に関する職員の意識レベル向上を図る。
治験審査委員会	当院における治験の倫理性、安全性、科学的妥当性を審査する。
臨床研究倫理審査委員会	ヒトを対象とする医学研究を実施するにあたり、被験者の人権・安全・福祉を保護し、科学的、倫理的に妥当であるか検討する。
利益相反委員会	「厚生労働科学研究における利益相反の管理に関する指針」に基づき、研究等を実施する職員の利益相反について、透明性を確保して適正に管理し、研究の公平性及び客観性、信頼性を確保する。
透析機器安全管理委員会	透析液の清浄化でよりよい透析医療を目指す。
病床管理委員会	全病床を適正に管理してより効率的に使用する。
防火・防災対策委員会	防災計画の立案及び運用につき検討、審議する。
薬事委員会	当院で使用する全ての医薬品について、医学的及び薬学的評価をおこない、その選択、購入、使用の適正化を図る。
輸血療法委員会	安全かつ適正な輸血療法をするための検討、審議する。
臨床検査委員会	臨床検査に関わる精度管理、検査内容につき検討、審議する。
臨床倫理委員会	医療行為が倫理的配慮のもとにおこなわれるよう審査する。
臨床研修管理委員会	研修医の管理及び研修医の採用・中断・修了の際の評価等、臨床研修統括をおこなう。
医師・看護師負担軽減検討委員会	医師・看護師の負担軽減及び処遇の改善を図るため、必要な事項を定める。

研　究　業　績

2021年度

研究業績　2021年4月～2022年3月の学会発表・論文

糖尿病・内分泌内科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2021.11.19	糖尿病患者に対するFlash Glucose Monitoring(FGM)の有用性について	上ノ町優仁、中﨑満浩、政昌子、吉留正次、松下敬亮、西尾善彦	第59回日本糖尿病学会九州地方会〔Web開催〕
2021. 5.20	ルセオグリフロジンとデュラグルチド使用患者のHbA1c・体重減少効果について	吉留正次、中﨑満浩、政昌子、竹迫慎平、上ノ町優仁、濱田慎二	第64回日本糖尿病学会年次学術集会〔Web開催〕

循環器内科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【論文】			
2021.12.17	Evaluating the Khorana risk score of gastrointestinal cancer patients during initial chemotherapy as a predictor of patient mortality: A retrospective study.	Shibata K, Tokushige A, Imamura M, Ikeda Y, Ohishi M.	J Cardiol. 2021(online)
2021. 6	出血性合併症にDOAC切り替えが有効であったがん関連静脈血栓症の一例	柴田啓佑、今村正和	「心臓」vol.53 No.6 (P623-628)
【学会発表】			
2022. 3.11	Evaluating the Khorana risk score of gastrointestinal cancer patients during initial chemotherapy as a predictor of patient mortality: A retrospective study.	Shibata K, Tokushige A, Imamura M, Ikeda Y, Ohishi M.	第86回日本循環器学会学術集会〔Web開催〕
2021.10.12	消化器がん患者における初回化学療法開始時のKhoranaスコアは死亡予測に有用である	柴田啓佑、徳重明央、今村正和、池田義之、大石充	第4回日本腫瘍循環器学会学術集会〔Web開催〕
2021. 8.27	Khorana score at an initial chemotherapy is effective on predicting death in patients with gastrointestinal cancer	K.Shibata, A.Tokushige, M.Imamura, M.Ohishi	欧州心臓病学会/European Society of Cardiology Congress 2021〔Web開催〕
2021. 6.26	右室機能低下を伴う肺動脈血栓症の再発に外来で抗凝固療法を行えた一例	柴田啓佑、今村正和	第130回日本循環器学会九州地方会〔Web開催〕

消化器内科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【論文】			
2021. 7. 6	Anorectal function preserving surgery with endoscopic submucosal dissection in patients with perianal extramammary Paget's disease	Kentaro Yamamura, Shigeto Matsushita, Shunji Shimaoka, Masaki Kitazono, Takuro Maeda, Kensuke Nuruki, Shoichi Sakamoto, Yoko Minokawa, Megumi Aoki	THE JOURNAL OF DERMATOLOGY vol.48 No.10 (P520-521)
【学会発表】			
2021.12. 4	診断に苦慮した膵腺房細胞癌の一例	木下英幸、政幸一郎、新原亨、島岡俊治、田代光太郎、楠元大岳、古川沙織、馬場由紀子、古川淳一郎、前村清美、山本真也、堀雅英、西俣寛人	第112回日本消化器内視鏡学会九州支部例会/第118回日本消化器病学会九州支部例会〔出島メッセ長崎(長崎市)〕

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表のつづき】			
2021.12. 4	内視鏡的に完全摘出しえた胃石の1例	前村清美、島岡俊治、山本真也、古川淳一郎、古川沙織、馬場由紀子、楠元大岳、木下英幸、政幸一郎、田代光太郎、新原亨、堀雅英、西俣寛人、山口芳史	第112回日本消化器内視鏡学会九州支部例会/第118回日本消化器病学会九州支部例会〔出島メッセ長崎(長崎市)〕
2021.12. 4	内視鏡的副乳頭切除術を施行した十二指腸副乳頭部腺腫の一例	山本真也、島岡俊治、古川淳一郎、前村清美、古川沙織、馬場由紀子、楠元大岳、木下英幸、政幸一郎、田代光太郎、堀雅英、新原亨、堀之内道子	第112回日本消化器内視鏡学会九州支部例会/第118回日本消化器病学会九州支部例会〔出島メッセ長崎(長崎市)〕
2021.11. 4	消化器系良性疾患への線虫(N-NOSE)の反応性	楠元大岳、杉本敏美、古川淳一郎、古川沙織、馬場由紀子、政幸一郎、島岡俊治、田代光太郎、堀雅英、広津崇亮、新原亨	第63回日本消化器病学会大会/JDDW2021〔神戸コンベンションセンター(神戸市)〕

腎臓内科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【論文】			
2021. 7.20	20代で腎提供後10年以上経過して巣状分節性糸球体硬化症(FSGS)を発症し末期腎不全となった症例	畑添久美子、尾田佑美、内田義男、曽我部篤史	鹿児島市医報　第60巻第8号(P33-36)
【座長、講演、シンポジスト等】			
2021. 9.11	腎臓の構造と機能	【講師】畑添久美子	鹿児島県臨床工学技士会主催透析関連新人教育セミナー〔Web開催〕
2021. 7.19	血管からみる生活習慣病重症化予防教室	【講師】尾田佑美	鹿児島市東部保健センター主催〔東部保健センター(鹿児島市)〕

肝臓内科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【論文】			
2022. 1.27	Trends in hepatocellular carcinoma incident cases in Japan between 1996 and 2019	Masahito Nakano, Hiroshi Yatsuhashi, Shigemune Bekki, Yuko Takami, Yasuhito Tanaka, Yoko Yoshimaru, Koichi Honda, Yasuji Komorizono, Masaru Harada, Michihiko Shibata, Shotaro Sakisaka, Satoshi Shakado, Kenji Nagata, Tomoharu Yoshizumi, Shinji Itoh, Tetsuro Sohda, Satoshi Oeda, Kazuhiko Nakao, Ryu Sasaki, Tsutomu Yamashita, Akio Ido, Seiichi Mawatari, Makoto Nakamuta, Yoshifusa Aratake, Shuichi Matsumoto, Tatsuji Maeshiro, Takashi Goto, Takuji Torimura	scientific reports 2022 vol.12 (online)
2021. 7.15	Screening for Gaucher Disease Using Dried Blood Spot Tests: A Japanese Multicenter, Cross-sectional Survey	Toshihiro Miyamoto, Masaki Iino, Yasuji Komorizono, Toru Kiguchi, Nobufusa Furukawa, Maki Otsuka, Shohei Sawada, Yutaka Okamoto, Kenji Yamauchi, Toshitaka Muto, Tomoaki Fujisaki, Hisashi Tsurumi, and Kimitoshi Nakamura	Internal Medicine 2021 vol.60(5)(P699-707)
【学会発表】			
2021. 7.22	当科の肝細胞癌に対するアブレーションシステムarfaの使用経験	小森園康二	第57回日本肝癌研究会(Web開催)

外　　科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【論文】			
2022. 2.13	Robot-Assisted excision of rectal duplication cysts:A case report	Masaki Kitazono, Makoto Fujita, Tomohiro Oyama, Naotaka Ikeda, Mayumi Eguchi, Go Kamimura, Rikiya Sato, Shuichiro Uchiyama, Ryoichi Toyosaki, Toyokuni Suenaga, Shunji Shimaoka	Clinical Case Report 2022; 10 (online)
2021. 9.21	A case of emergency pancreatoduodenectomy for bleeding form the duodenal mucosa due to arteriovenous malformation of the pancreatic head	Masaki Kitazono, Makoto Fujita, Katsugi Katsue, Naotaka Ikeda, Tomohiro Oyama, Mayumi Eguchi, Go Kamimura, Rikiya Sato, Shuichiro Uchiyama, Ryoichi Toyosaki, Toyokuni Suenaga	Clinical Case Report 2021; 9 (online)
2021. 9	腹腔鏡内視鏡合同手術(LECS)により切除術を行った噴門部胃粘膜下層腫瘍の一例	上村真弓、北薗正樹、池田直隆、大山智宏、上村豪、佐藤力弥、内山周一郎、豊﨑良一、末永豊邦、島岡俊治	鹿児島大学医学雑誌
【学会発表】			
2021. 3.24	腹腔鏡下に修復し得たMorgagni孔ヘルニアの1例	大山智宏、末永豊邦、北薗正樹、豊﨑良一、内山周一郎、佐藤力弥、池田直隆、伊藤綾香	第58回日本腹部救急医学会総会〔京王プラザホテル(新宿区)〕
2021.12. 4	HCCに対する小開胸胸腔鏡下RFA後に発症した遅発性横隔膜ヘルニア嵌頓に対し腹腔鏡下修復術を施行した1例	内山周一郎、池田直隆、大山智宏、佐藤力弥、上村真弓北薗正樹、末永豊邦	第34回日本内視鏡外科学会総会〔神戸国際会議場(神戸市)〕
2021.12. 2	盲腸子宮内膜症に対して腹腔鏡補助下回盲部切除を施行した1例	池田直隆、他	第34回日本内視鏡外科学会総会〔神戸国際会議場(神戸市)〕
2021.11.20	グリソン解剖に基づく急性胆嚢炎に対する新しいアプローチ ～手術難度スコアに基づく卒後4年目若手外科医の執刀可能範囲の検討～	伊藤綾香、木口剛造、三井哲史、内田雄一郎、小島正之、安田顕、高原武志、加藤悠太郎、須田康一、宇山一朗、杉岡篤	第83回日本臨床外科学会総会〔京王プラザホテル(新宿区)〕
2021.11.20	急性胆嚢炎手術における難度評価に基づいた治療成績	伊藤綾香、木口剛造、三井哲史、内田雄一郎、小島正之、安田顕、高原武志、加藤悠太郎、須田康一、宇山一朗、杉岡篤	第83回日本臨床外科学会総会〔京王プラザホテル(新宿区)〕
2021.11.19	食道憩室再再発に対して下部食道胃上部切除、間置空腸再建術を施行した1例	伊藤綾香、北薗正樹、池田直隆、江口真弓、大山智宏、佐藤力弥、内山周一郎、豊﨑良一、末永豊邦	第83回日本臨床外科学会総会〔京王プラザホテル(新宿区)〕
2021.11.18	メッケル憩室翻転の1例	池田直隆、上村真弓、大山智宏、豊﨑良一、北薗正樹、末永豊邦	第83回日本臨床外科学会総会〔京王プラザホテル(新宿区)〕
2021.11.13	早期S状結腸癌術後のCEA上昇により診断できた進行虫垂癌の1例	内山周一郎、他	第76回日本大腸肛門病学会学術集会〔リーガロイヤル広島(広島市)〕
2021.11.12	原発巣切除10年後に腸重積で発症した悪性黒色腫多発小腸転移の1例	伊藤綾香、内山周一郎、池田直隆、大山智宏、江口真弓、佐藤力弥、豊﨑良一、北薗正樹、末永豊邦	第76回日本大腸肛門病学会学術集会〔リーガロイヤル広島(広島市)〕
【座長、講演、シンポジスト等】			
2021.11.18	肝　悪性③	【座長】北薗正樹	第83回日本臨床外科学会総会〔京王プラザホテル(新宿区)〕

呼吸器外科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2021. 5.20	切除標本含気CTの有用性	上村豪	第38回日本呼吸器外科学会学術集会〔長崎ブリックホール(長崎市)〕

整形外科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【論文】			
2021. 6.11	Three-Year Clinical Outcomes after Minimally Invasive Sacroiliac Joint ArthrodesisUsing Triangular Implants in Japan: A Pilot Study of Five Cases	Daisuke Kurosawa, Eiichi Murakami, Hiroaki Koga, Hiroshi Ozawa	Spine Surgery and Related Research (P71-78)

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2021.12.18	イメージフリーナビゲーションを用いたOpen Wedge Higi Tibial Osteotomy における術中・術後 alignment 誤差に対する軟部組織不安定性およびJLCA変化の影響について	川畑英之、他	第9回日本Knee Osteotomy フォーラム/第1回日本Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会〔神戸国際会議場(神戸市)〕
2021.12.11	膝関節内の遺残散弾が原因と思われる変形性関節症の1例	藤善卓弥、恒吉康弘、川畑英之、永吉隆作、富村奈津子、古賀公明、吉野伸司、川内義久、谷口昇	第142回西日本整形・災害外科学会学術集会〔熊本城ホール(熊本市)〕
2021.12. 2	Ponseti 法を施行した先天性内反足症例の長期成績(10年以上経過例の検討)	城光寺豪、中村雅洋、吉野伸司	第32回日本小児整形外科学会学術集会〔Web開催〕
2021.10.24	仙腸関節障害に対する依存症の影響について	松本亮、新丈司、古賀哲也、川内義久、古賀公明	第12回日本仙腸関節研究会〔Web開催〕
2021.10.24	治療における仙腸関節障害の病態分類の有用性	新丈司、松本亮、古賀哲也、川内義久、橋本博子、古賀公明	第12回日本仙腸関節研究会〔Web開催〕
2021.10.24	腰痛を訴える患者における腹部CTの有用性について	古賀哲也	第12回日本仙腸関節研究会〔Web開催〕
2021.10.22	仙腸関節障害に対してハムストリングスへの介入が著効した4例	山﨑数馬、新丈司、吉永剛志、藺牟田博太郎、河野哲朗、瀬戸口里美、松本亮、川井田唯、末吉智弥、古賀公明	第29回日本腰痛学会〔Web開催〕
2021.10.22	医師と理学療法士による協働が奏効した例～短期間に腰下肢痛の原因が変化したが良好な結果を得た一症例～	藺牟田博太郎、新丈司、吉永剛志、山﨑数馬、河野哲朗、松本亮、瀬戸口里美、川井田唯、古賀公明	第29回日本腰痛学会〔Web開催〕
2021.10.22	仙腸関節障害重症例に対する低侵襲性仙腸関節固定術後3年の治療成績:iFUSEインプラントシステムを用いた5例のPilot study	黒澤大輔、村上栄一、古賀公明、小澤浩司	第29回日本腰痛学会〔WEB開催〕
【座長、講演、シンポジスト等】			
2021.10.24	関節を固定しない新しい手術方法を考える	【講師】古賀公明	第12回日本仙腸関節研究会〔Web開催〕
2021. 6.24	整形外科医による糖尿病・重症虚血肢の足病変治療の取り組み	【講師】富村奈津子	第9回博多糖尿病・フットケアセミナー(福岡市)
【その他】			
2021.10	重症下肢虚血	富村奈津子	今日の整形外科治療指針　第8版(医学書院)P881
2021. 6. 1	仙腸関節障害の病態分類と各々の臨床的特徴	新丈司、古賀公明、黒澤大輔、川内義久、村上栄一	臨床雑誌『整形外科』72巻・7号(6月号,第869冊)〔2021年6月1日〕・別刷　南江堂

ペインクリニック内科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2021. 7.22	2回のブラッドパッチで改善しなかった外傷性脳性髄液漏出症に対して硬膜外生理食塩水注入が著効した1例	益山隆志、八木由紀子	日本ペインクリニック学会第55回学術集会〔Web開催〕

脳神経外科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2021.11.26	アルツハイマー型認知症におけるテプレノンの無作為化プラセボ対照二重盲検比較試験	横山俊一、吉永拓真、松崎潤太郎、鈴木秀和	第40回日本認知症学会学術集会〔東京国際フォーラム(千代田区)〕

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【座長、講演、シンポジスト等】			
2021.11.15	頭痛について認知症について	【講師】横山俊一	鹿児島市母子寡婦福祉会生活支援講習会（鹿児島市国際交流センター（鹿児島市））
2021.11. 4	脳卒中について	【講師】横山俊一	血管からみる生活習慣病重症化予防教室（桜島地区保健センター（鹿児島市））
2021. 8.25	脳卒中（脳卒中の病態や予防、疾病を重症化させないための生活習慣についてなど）	【講師】横山俊一	鹿児島市桜島保健福祉課主催（桜島地区保健センター（鹿児島市））

麻酔科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【論文】			
2021. 8.10	開腹術における腸間膜牽引症候群の発生率—セボフルランとデスフルランの比較—	國吉保、長谷川麻衣子、上村裕一、松田芳隆	麻酔 2021　70巻8号（P814-817）

緩和ケア内科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2021. 6.18	直接経口抗凝固薬（DOAC）内服中にトルソー症候群を発症し、ヘパリン皮下注に変更後、在宅医療が可能となった症例を経験して	加藤博美、真上美千子、友重真澄、宮﨑美千代、大渕友紀子、樋渡健太朗、上ノ町優仁	第26回日本緩和医療学会学術大会（パシフィコ横浜（横浜市））

看護部

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2021. 1.22	外来化学療法でインフューザーポンプ使用患者の日常生活で困っていること	政岡あかね	第55回鹿児島県保健看護研究学会（鹿児島県看護研修会館（鹿児島市））
【座長、講演、シンポジスト等】			
2021.11.27	手術看護を極める～機械だし看護と外回り看護のアセスメントと実際	【座長】北園千尋	第23回周手術期看護研修会
2021. 7.20	PD患者へのLifeGoals生活目標の設定	【講師】小山貴也	第19回北九州腹膜透析研究会（Web開催）
2021. 5.13	CKDチームのすすめ	【座長】小山貴也	第5回鹿児島CKDチーム医療研究会（Web開催）

薬剤部

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2021. 3.12	免疫チェックポイント阻害薬使用患者における甲状腺・副腎機能異常に関する調査	永井海舟、新福菜月、山下亜由子、藤宮佳菜、武富瑞希、本田梨紗、益田宏代、合田明博	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2022（仙台国際センター（仙台市））

感染制御室

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2021.11.20	COVID-19に関する鹿児島県感染症チームの活動の取り組み	吉森みゆき（今村総合病院）、齋藤潤栄、他	日本医療マネジメント学会第19回九州・山口連合大会〔Web開催〕
2021. 9.20	鹿児島県感染症チームによる医療機関への継続的クラスター支援	吉森みゆき（今村総合病院）、齋藤潤栄、他	第36回日本環境感染学会・学術集会〔名古屋国際会議場（名古屋市）〕
2021. 9.20	COVID-19施設クラスターに対する行政専門家連携チームの取組み	川村英樹（鹿児島大学病院）、齋藤潤栄、他	第36回日本環境感染学会・学術集会〔名古屋国際会議場（名古屋市）〕
2021. 9.20	行政と連携した医療機関・介護事業所へのCOVID-19感染症対策の訪問支援の取り組み	齋藤潤栄、他	第36回日本環境感染学会・学術集会〔名古屋国際会議場（名古屋市）〕
【座長、講演、シンポジスト等】			
2021.10.20	感染対策マニュアルに係わる研修会	【講師】齋藤潤栄	県看護協会主催〔Web開催〕

放射線技術科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2022. 2. 8	気を付けたい胃がん症例	淵脇崇史	第69回鹿児島消化器画像研究会・第19回超音波研究会〔Web開催〕
2022. 2. 8	鑑別の困難な炎症性疾患について	日髙稔	第69回鹿児島消化器画像研究会・第19回超音波研究会〔Web開催〕
2022. 2. 4	施設報告/MRI検査室における安全管理の実際	中原武志	第23回鹿児島MRI研究会〔Web開催〕
【座長、講演、シンポジスト等】			
2021.12.12	放射線管理-1　被ばく線量/防護	【座長】日髙稔	第16回九州放射線医療技術学術大会〔佐賀市文化会館（佐賀市）〕

臨床検査科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2021. 6.30	肥大型心筋症に類似した心電図所見を呈した転移性心臓腫瘍の1例	中尾博子	第306回鹿児島超音波医学研究会〔Web開催〕

リハビリテーション科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【座長、講演、シンポジスト等】			
2022. 2. 6	誤嚥を防ぐ口腔機能アセスメントと失語症、コミュニケーションについて	【講師】樋渡健太朗	一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会主催　令和3年度リハビリテーション専門職派遣事業〔Web開催：喜界島従事者向け〕
2021.10.24	地域ケア会議に求められる言語聴覚士の役割	【講師】樋渡健太朗	地域ケア会議推進リーダー研修会（鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会）〔Web開催〕

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【座長、講演、シンポジスト等のつづき】			
2021. 9. 4	認知機能予防、コミュニケーション支援	【講師】樋渡健太朗	鹿児島県言語聴覚士会主催　地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業　初期研修〔Web開催〕
2021. 7. 8	介護職基礎研修B「誤嚥を防ぐ食事の姿勢と介助方法など」	【講師】樋渡健太朗	鹿児島県社会福祉協議会主催〔鹿児島県民交流センター（鹿児島市）〕

臨床工学科

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2021.10. 3	長時間PMXDHPが血小板に与える影響	尾﨑将弘、武田弘隆、内田義男、前村隆治、萩尾賢一、内薗誠、藤崎洋一、寶代敏行、堂園創、翁長武世、北原京介、一松稜佑、畑添久美子、曾我部篤史	第32回日本急性血液浄化学会学術集会
2021. 5.22	ロボット支援下手術100例を経験してor当院におけるロボット支援下手術と臨床工学技師の役割～200例を経験して	荻尾賢一、堂園創、翁長武世、尾崎将弘、一松稜佑、北原京介、武田弘隆、寶代敏行、藤崎洋一、内薗誠、前村隆治	第31回日本臨床工学会〔Web開催〕
【座長、講演、シンポジスト等】			
2022. 3.13	一般演題	【座長】武田弘隆	第28回鹿児島県臨床工学会〔Web開催〕
2021.10.30	基礎から学ぶ！エンドトキシン吸着除去療法（PMX-DHP）	【講師】武田弘隆	北海道急性血液浄化セミナー2021〔Web開催〕
2021.10. 3	よくわかるセミナー17/歴史から学ぶ血液浄化装置	【講師】武田弘隆	第32回日本急性血液浄化学会学術集会〔ラフレさいたま（さいたま市）〕
2021. 9.11	鹿児島県臨床工学技士会主催 透析関連新人教育セミナー	【座長】武田弘隆	鹿児島県臨床工学技士会〔Web開催〕

事務部　医療支援課

年月日	演題名または論文名	演者・発表者・著者	学会名または掲載誌名
【学会発表】			
2021. 9.19	外来化学療法への医師事務作業補助者の取り組み	新村みどり	日本医師事務作業補助者研究会第10回全国大会〔Web開催〕
2021. 9.19	消化器内科にスマイルを～迅速・丁寧な支援をめざして～	堀之内綾子	日本医師事務作業補助者研究会第10回全国大会〔Web開催〕
2021. 9.19	ドクター支援は私達におまかせあれ～麻酔科支援業務立ち上げの取り組み～	脇黒丸倫奈	日本医師事務作業補助者研究会第10回全国大会〔Web開催〕

医　療　統　計

2021年度

入院患者延数

	2019年	2020年	2021年
全体	89,580	85,722	87,994
糖尿病・内分泌内科	5,581	4,945	5,154
消化器内科	13,282	12,811	13,603
腎臓内科	3,323	3,032	2,924
外科	18,382	17,193	17,185
脳神経外科	49	34	—
整形外科	24,296	23,964	24,462
肝臓内科	6,437	6,266	5,851
呼吸器外科	3	2	22
呼吸器内科	4,455	5,043	6,007
循環器内科	3,058	2,833	3,698
ﾍﾟｲﾝｸﾘﾆｯｸ内科	3,570	3,095	2,884
脳神経内科	3,603	3,205	2,605
緩和ｹｱ内科	3,541	3,299	3,599

退院患者数

	2019年	2020年	2021年
全体	6,088	6,191	6,356
糖尿病・内分泌内科	437	433	410
消化器内科	1,644	1,536	1,713
腎臓内科	168	150	174
外科	1,322	1,314	1,252
脳神経外科	9	6	—
整形外科	1,166	1,246	1,274
肝臓内科	475	530	518
呼吸器外科	—	—	3
呼吸器内科	212	377	449
循環器内科	176	153	161
ﾍﾟｲﾝｸﾘﾆｯｸ内科	177	148	132
脳神経内科	167	164	134
緩和ｹｱ内科	135	134	136

新入院患者数

	2019年	2020年	2021年
全体	6,082	6,199	6,370
糖尿病・内分泌内科	551	579	512
消化器内科	1,569	1,489	1,746
腎臓内科	168	166	180
外科	1,314	1,249	1,195
脳神経外科	8	5	—
整形外科	1,179	1,246	1,269
肝臓内科	502	529	516
呼吸器外科	2	3	4
呼吸器内科	215	408	480
循環器内科	188	180	171
ﾍﾟｲﾝｸﾘﾆｯｸ内科	172	151	126
麻酔科	1	—	1
脳神経内科	156	139	117
緩和ｹｱ内科	57	55	53

平均在院日数

	2019年	2020年	2021年
全体	14.7	13.8	13.8
糖尿病・内分泌内科	10.8	8.8	10.2
消化器内科	7.5	7.7	7.3
腎臓内科	17.9	17.3	15.5
外科	12.9	12.2	12.8
脳神経外科	4.9	5.7	—
整形外科	20.0	18.6	18.8
肝臓内科	12.5	11.3	10.7
呼吸器外科	—	—	10
呼吸器内科	18.3	12.4	12.7
循環器内科	15.9	15.3	21.3
ﾍﾟｲﾝｸﾘﾆｯｸ内科	20.1	20.0	21.9
麻酔科	—	—	—
脳神経内科	20.6	18.7	18.2
緩和ｹｱ内科	25.5	24.6	24.9

外来患者延数

	2019年	2020年	2021年
全体	102,871	101,524	114,871
糖尿病・内分泌内科	8,430	8,296	9,255
消化器内科	16,848	15,504	18,341
腎臓内科	2,957	2,712	2,652
外科	7,024	6,783	7,153
脳神経外科	2,559	2,245	2,070
整形外科	26,350	28,661	34,768
肝臓内科	6,781	6,301	6,739
呼吸器外科	—	—	—
呼吸器内科	4,239	5,404	6,600
循環器内科	4,040	3,974	4,171
放射線科	3,128	3,081	3,479
ﾍﾟｲﾝｸﾘﾆｯｸ内科	4,950	4,431	4,693
麻酔科	1	—	—
脳神経内科	3,830	3,431	3,772
緩和ｹｱ内科	328	188	319
内科	697	674	648
老年内科	—	—	75

手術件数

	2019年	2020年	2021年
全体	2,137	2,058	2,173
糖尿病・内分泌内科	—	—	—
消化器内科	35	18	30
腎臓内科	21	16	16
外科	879	823	861
脳神経外科	—	—	—
整形外科	1,053	1,032	1,116
肝臓内科	—	—	—
呼吸器外科	18	75	75
呼吸器内科	—	—	1
循環器内科	—	—	—
放射線科	—	—	—
ﾍﾟｲﾝｸﾘﾆｯｸ内科	130	94	73
麻酔科	—	—	—
脳神経内科	1	—	1
緩和ｹｱ内科	—	—	—

地域支援紹介率及び件数

	2019年	2020年	2021年
地域支援紹介率（%）	72.2	71.5	59.6
紹介件数（全体）	8,963	8,927	9,465
糖尿病・内分泌内科	307	296	322
消化器内科	1,932	1,760	1,949
腎臓内科	318	274	215
外科	574	524	512
脳神経外科	148	154	150
整形外科	1,538	1,679	1,715
肝臓内科	353	341	328
呼吸器外科	—	—	—
呼吸器内科	215	412	432
循環器内科	209	198	181
放射線科	2,824	2,820	3,190
ﾍﾟｲﾝｸﾘﾆｯｸ内科	272	226	209
麻酔科	2	—	—
脳神経内科	253	231	228
緩和ｹｱ内科	9	9	14
老年内科	—	—	15

救急車件数

	2019年	2020年	2021年
全体	1,422	1,637	1,434
糖尿病・内分泌内科	333	428	378
消化器内科	322	323	379
腎臓内科	48	82	45
外科	306	319	276
脳神経外科	2	—	—
整形外科	166	205	114
肝臓内科	35	17	21
呼吸器外科	—	—	1
呼吸器内科	78	139	114
循環器内科	88	86	66
ﾍﾟｲﾝｸﾘﾆｯｸ内科	1	4	1
麻酔科	1	—	—
脳神経内科	33	28	34
緩和ｹｱ内科	7	4	4
内科	—	—	—
うち入院件数（全体）	1,137	1,273	1,120

逆紹介率及び件数

	2019年	2020年	2021年
逆紹介率（%）	92.3	87.6	69.3
紹介件数（全体）	11,452	10,948	11,007

病床利用率

	2019年	2020年	2021年
全体（%）	72.4	69.5	71.3

2021年度　疾病分類別各診療科入院患者数

ICD10 大分類項目	中分類 コード	ICD10 中分類名	ペインクリニック内科	外科	緩和ケア内科	肝臓内科	呼吸器外科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	整形外科	糖尿病・内分泌内科	脳神経内科	総計
第Ⅰ章 感染症および寄生虫症 (A00-B99)	A02	その他のサルモネラ感染症											1		1
	A04	その他の細菌性腸管感染症				1		1	1	12	1		5		21
	A05	その他の細菌性食中毒		1											1
	A08	ウイルス性およびその他の明示された腸管感染症		1						1					2
	A09	その他の明示された腸管感染症		10				2	2	27		1	26		68
	A16	呼吸器結核、細菌学的または組織学的に確認されていないもの						5							5
	A18	その他の臓器の結核								1					1
	A31	その他のマイコバクテリアによる感染症						7							7
	A40	レンサ球菌性敗血症								1			2		3
	A41	その他の敗血症		4		3		1		7			9	1	25
	A48	その他の細菌性疾患、他に分類されないもの										2			2
	A49	部位不明の細菌感染症						1		7	1		4		13
	A75	発疹チフス				1							2		3
	A85	その他のウイルス(性)脳炎、他に分類されないもの												2	2
	B02	帯状疱疹[帯状ヘルペス]	2											1	3
	B16	急性B型肝炎								1					1
	B17	その他の急性ウイルス肝炎				4				1					5
	B18	慢性ウイルス肝炎				6									6
	B25	サイトメガロウイルス病						1							1
	B27	伝染性単核症								2			2		4
	B44	アスペルギルス症						4							4
	B45	クリプトコッカス症						1							1
	B49	詳細不明の真菌症		1											1
第Ⅱ章 新生物 (C00-D48)	C02	その他および部位不明の舌の悪性新生物								1					1
	C05	口蓋の悪性新生物			1										1
	C15	食道の悪性新生物		39	2					58					99
	C16	胃の悪性新生物		91	9				1	135			1		237
	C17	小腸の悪性新生物		4	2					4					10
	C18	結腸の悪性新生物		113	15	3				82					213
	C19	直腸S状結腸移行部の悪性新生物		27	3					24					54
	C20	直腸の悪性新生物		72	9					36			1		118
	C21	肛門および肛門管の悪性新生物								3					3
	C22	肝および肝内胆管の悪性新生物		21	19	361				14		1	2		418
	C23	胆のう<嚢>の悪性新生物		9	5					8					22
	C24	その他および部位不明の胆道の悪性新生物		11	6					36					53
	C25	膵の悪性新生物		57	25	1				133			1		217
	C31	副鼻腔の悪性新生物			1										1
	C34	気管支および肺の悪性新生物		45	18			190		2					255
	C37	胸腺の悪性新生物		2											2
	C45	中皮腫		3				4	1						8
	C48	後腹膜および腹膜の悪性新生物		3	1										4
	C49	その他の結合組織および軟部組織の悪性新生物			2										2
	C50	乳房の悪性新生物		1	1										2
	C53	子宮頸(部)の悪性新生物			1										1
	C54	子宮体部の悪性新生物			3										3
	C56	卵巣の悪性新生物			6										6
	C61	前立腺の悪性新生物			3					1					4
	C64	腎盂を除く腎の悪性新生物		1											1
	C67	膀胱の悪性新生物			1					1					2
	C70	髄膜の悪性新生物			1										1
	C77	リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物		2											2
	C78	呼吸器および消化器の続発性悪性新生物		4	1	6		1							12
	C80	部位の明示されない悪性新生物						1		2					3
	C83	びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫		2	1					1					4
	C85	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他および詳細不明の型		3						6			1		10
	C88	悪性免疫増殖性疾患								2					2
	C90	多発性骨髄腫および悪性形質細胞腫瘍									1				1
	C91	リンパ性白血病						1							1
	C93	単球性白血病								1					1
	C95	細胞型不明の白血病		1											1
	D12	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物								28					28
	D13	消化器系のその他および部位不明確の良性新生物		16						12					28
	D14	中耳および呼吸器系の良性新生物		3											3
	D15	その他および部位不明の胸腔内臓器の良性新生物		1											1
	D17	良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)		2											2
	D18	血管腫およびリンパ管腫、各部位		1											1
	D21	結合組織およびその他の軟部組織のその他の良性新生物										2			2
	D24	乳房の良性新生物		1											1
	D25	子宮平滑筋腫	1												1
	D32	髄膜の良性新生物										1			1
	D33	脳および中枢神経系のその他の部位の良性新生物										1			1
	D36	その他および部位不明の良性新生物										1			1
	D37	口腔および消化器の性状不詳または不明の新生物		6		3				48			1		58
	D38	中耳、呼吸器および胸腔内臓器の性状不詳または不明の新生物		1											1
	D43	脳および中枢神経系の性状不詳または不明の新生物										1			1
	D44	内分泌腺の性状不詳または不明の新生物								1					1
	D46	骨髄異形成症候群									5				5
	D48	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物		2								2			4
第Ⅲ章 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	D50	鉄欠乏性貧血		5						15			1	1	22
	D51	ビタミンB12欠乏性貧血								1					1
	D53	その他の栄養性貧血								3					3
	D63	他に分類される慢性疾患における貧血								1					1
	D64	その他の貧血		1						2					3
	D65	播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]						1	1	4	1		1	1	9
	D69	紫斑病およびその他の出血性病態								2					2
	D73	脾疾患		1											1
	D86	サルコイドーシス						1	1						2
第Ⅳ章 内分泌,栄養および 代謝疾患 (E00-E90)	E03	その他の甲状腺機能低下症												1	1
	E05	甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]								1				1	2
	E10	インスリン依存性糖尿病<IDDM>											5		5
	E11	インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>								1	3		68		72
	E13	その他の明示された糖尿病											1		1
	E15	非糖尿病性低血糖性昏睡											1		1
	E16	その他の膵内分泌障害								1			4		5
	E23	下垂体機能低下症およびその他の下垂体障害								1					1
	E27	その他の副腎障害											1		1
	E46	詳細不明のたんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)		1									1		2
	E51	チ<サイ>アミン欠乏症								1					1
	E72	その他のアミノ酸代謝障害				2									2
	E85	アミロイドーシス<アミロイド症>												1	1
	E86	体液量減少(症)		2				1	1	3			8		15
	E87	その他の体液、電解質および酸塩基平衡障害		1				1	1	5			4	1	13
	E88	その他の代謝障害							1						1
第Ⅴ章 精神および行動の障害 (F00-F99)	F00	アルツハイマー<Alzheimer>病の痴呆		2										1	3
	F03	詳細不明の痴呆								1			1		2
	F10	アルコール使用<飲酒>による精神および行動の障害								4			1		5
	F32	うつ病エピソード									1				1
	F41	その他の不安障害		1						1			1	1	4
	F43	重度ストレスへの反応および適応障害											1		1
	F45	身体表現性障害								2			1		3

	F50	摂食障害				1								1
第Ⅵ章 神経系の疾患 (G00-G99)	G00	細菌性髄膜炎、他に分類されないもの											1	1
	G03	その他および詳細不明の原因による髄膜炎										1	1	2
	G06	頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫									1			1
	G12	脊髄性筋萎縮症および関連症候群									3			3
	G20	パーキンソン<Parkinson>病					1		2			4	42	49
	G23	基底核のその他の変性疾患										1	4	5
	G25	その他の錐体外路障害および異常運動											1	1
	G31	神経系のその他の変性疾患、他に分類されないもの										2	1	3
	G36	その他の急性播種性脱髄疾患											1	1
	G37	中枢神経系のその他の脱髄疾患											1	1
	G40	てんかん		1						1		1	1	4
	G44	その他の頭痛症候群										1		1
	G45	一過性脳虚血発作および関連症候群											2	2
	G50	三叉神経障害	3											3
	G53	他に分類される疾患における脳神経障害	57											57
	G55	他に分類される疾患における神経根および神経そう<叢>の圧迫	23								1		1	25
	G56	上肢の単ニューロパチ<シ>一									28			28
	G57	下肢の単ニューロパチ<シ>一	3								1			4
	G58	その他の単ニューロパチ<シ>一	3											3
	G61	炎症性多発(性)ニューロパチ<シ>一											2	2
	G71	原発性筋障害											1	1
	G72	その他のミオパチ<シ>一							1			1	4	6
	G80	脳性麻痺											1	1
	G83	その他の麻痺性症候群									1			1
	G90	自律神経系の障害							1			1	5	7
	G93	脳のその他の障害					1			1			1	3
	G95	その他の脊髄疾患											1	1
	G96	中枢神経系のその他の障害	26										1	27
	G97	神経系の処置後障害、他に分類されないもの	5											5
第Ⅶ章 眼および付属器の疾患 (H00-H59)	H49	麻痺性斜視											1	1
第Ⅷ章 耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	H81	前庭機能障害		3			1	1	5			15	3	28
第Ⅸ章 循環器系の疾患 (I00-I99)	I10	本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)						1		1		4		6
	I20	狭心症						2			1			3
	I21	急性心筋梗塞					1	1	1					3
	I23	急性心筋梗塞の続発合併症						1						1
	I25	慢性虚血性心疾患		1								1		2
	I26	肺塞栓症						4						4
	I27	その他の肺性心疾患								3	1			4
	I33	急性および亜急性心内膜炎								1				1
	I42	心筋症						1						1
	I44	房室ブロックおよび左脚ブロック						4						4
	I46	心停止		1			1		1	1		1		5
	I47	発作性頻拍(症)						2	1	1				4
	I48	心房細動および粗動						9				1		10
	I49	その他の不整脈						4						4
	I50	心不全		2		1	6	89	3	23		7	1	132
	I51	心疾患の合併症および診断名不明確な心疾患の記載						1	1					2
	I61	脳内出血				1			1	1			1	4
	I62	その他の非外傷性頭蓋内出血								1	1			2
	I63	脳梗塞		1				2	1	1			18	23
	I66	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの											1	1
	I69	脳血管疾患の続発・後遺症		1				1	1					3
	I70	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)								2	2			4
	I71	大動脈瘤および解離										2		2
	I72	その他の動脈瘤		1										1
	I74	動脈の塞栓症および血栓症									1			1
	I77	動脈および細動脈のその他の障害							1					1
	I80	静脈炎および血栓(性)静脈炎						1	1					2
	I81	門脈血栓症			1									1
	I85	食道静脈瘤		1					8					9
	I86	その他の部位の静脈瘤		1		3			5					9
	I87	静脈のその他の障害										1		1
	I95	低血圧(症)										1	2	3
	I98	他に分類される疾患における循環器系のその他の障害							10					10
第Ⅹ章 呼吸器系の疾患 (J00-J99)	J02	急性咽頭炎					1							1
	J03	急性扁桃炎						1						1
	J06	多部位および部位不明の急性上気道感染症										1		1
	J13	肺炎レンサ球菌による肺炎					2							2
	J15	細菌性肺炎、他に分類されないもの		4			23		4	3	1	29	1	65
	J17	他に分類される疾患における肺炎					3							3
	J18	肺炎、病原体不詳					4	1	1	2	1	3		12
	J20	急性気管支炎							2					2
	J40	気管支炎、急性または慢性と明示されないもの								1				1
	J44	その他の慢性閉塞性肺疾患					12			1			1	14
	J45	喘息						1				2		3
	J46	喘息発作重積状態					3			1				4
	J69	固形物および液状物による肺臓炎		5		1	14	6	8	2		36	4	76
	J70	その他の外的因子による呼吸器病態		1			2		1					4
	J80	成人呼吸窮<促>迫症候群<ARDS>					1							1
	J82	肺好酸球症、他に分類されないもの					1							1
	J84	その他の間質性肺疾患					39		1		1			41
	J85	肺および縦隔の膿瘍		6			1			1				8
	J86	膿胸(症)		8		1	1					1		11
	J90	胸水、他に分類されないもの		3			1			1		1		6
	J93	気胸		8			9							17
	J94	その他の胸膜病態					1							1
	J96	呼吸不全、他に分類されないもの					1							1
	J98	その他の呼吸器障害		2			2							4
	J99	他に分類される疾患における呼吸器障害					3							3
第Ⅺ章 消化器系の疾患 (K00-K93)	K20	食道炎					1		1					2
	K21	胃食道逆流症							11					11
	K22	食道のその他の疾患							6					6
	K25	胃潰瘍		2		1			33					36
	K26	十二指腸潰瘍		9					22					31
	K28	胃空腸潰瘍		1					2					3
	K29	胃炎および十二指腸炎		2					6					8
	K31	胃および十二指腸のその他の疾患		2		1			6					9
	K35	急性虫垂炎		79										79
	K36	その他の虫垂炎		7										7
	K40	そけい<鼠径>ヘルニア		107										107
	K41	大腿<股>ヘルニア		6										6
	K42	臍ヘルニア		4										4
	K43	腹壁ヘルニア		18										18
	K45	その他の腹部ヘルニア		5										5
	K46	詳細不明の腹部ヘルニア							1					1
	K50	クローン<Crohn>病[限局性腸炎]		6					21					27
	K51	潰瘍性大腸炎		1					18					19
	K52	その他の非感染性胃腸炎および非感染性大腸炎		1					7					8
	K55	腸の血行障害		9					39			6		54
	K56	麻痺性イレウスおよび腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの		22			2		24			3		51
	K57	腸の憩室性疾患		38					114			3		155
	K58	過敏性腸症候群							2					2
	K59	その他の腸の機能障害		2			1	3	11			6		23
	K60	肛門部および直腸部の裂(溝)および瘻(孔)		3										3
	K62	肛門及び直腸のその他の疾患		2					22			1		25
	K63	腸のその他の疾患		10					116					126

	K64	痔核及び肛門周囲静脈血栓症		2								1		3
	K65	腹膜炎		13		1				4		1	1		20
	K66	腹膜のその他の障害								1					1
	K70	アルコール性肝疾患				29				4					33
	K71	中毒性肝疾患				19					1				20
	K72	肝不全、他に分類されないもの												1	1
	K73	慢性肝炎、他に分類されないもの				4									4
	K74	肝線維症および肝硬変				31				1			1		33
	K75	その他の炎症性肝疾患		2		11				11					24
	K76	その他の肝疾患		3		7				5	1				16
	K80	胆石症		127						185	1		1		314
	K81	胆のう<嚢>炎		23						13			1		37
	K82	胆のう<嚢>のその他の疾患		12						1					13
	K83	胆道のその他の疾患		8		4				38			1		51
	K85	急性膵炎								42					42
	K86	その他の膵疾患		2						27					29
	K91	消化器系の処置後障害、他に分類されないもの		63						20			6		89
	K92	消化器系のその他の疾患		5						15	1		2		23
	L02	皮膚膿瘍，せつ<フルンケル>および ようく<カルブンケル>		2											2
	L03	蜂巣炎		2		1		1	1	2		2	12	4	25
	L27	摂取物質による皮膚炎											1		1
第XII章	L50	じんま<蕁麻>疹											1		1
皮膚および皮下組織の疾患	L51	多形紅斑				1									1
(L00-L99)	L60	爪の障害										1			1
	L72	皮膚および皮下組織の毛包のう<嚢>胞		2											2
	L89	じょく<褥>瘡(性)潰瘍										5	1		6
	L97	下肢の潰瘍，他に分類されないもの										25	1		26
	L98	皮膚および皮下組織のその他の障害，他に分類されないもの		1											1
	M00	化膿性関節炎										4			4
	M05	血清反応陽性慢性関節リウマチ										4			4
	M06	その他の慢性関節リウマチ				1						2	3	2	8
	M08	若年性関節炎										1			1
	M11	その他の結晶性関節障害										1	2	2	5
	M13	その他の関節炎										6	1		7
	M16	股関節症[股関節部の関節症]										135			135
	M17	膝関節症[膝の関節症]										185			185
	M18	第1手根中手関節の関節症										5			5
	M19	その他の関節症										96			96
	M20	指および趾<足ゆび>の後天性変形										5			5
	M21	(四)肢のその他の後天性変形										1			1
	M23	膝内障										2			2
	M24	その他の明示された関節内障										9			9
	M31	その他のえ<壊>死性血管障害						3			1				4
	M32	全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡><SLE>						1			1			1	3
	M33	皮膚(多発性)筋炎						5						1	6
	M34	全身性硬化症								1					1
第XIII章	M35	その他の全身性結合組織疾患						1		2			6		9
筋骨格系および	M41	(脊柱)側弯(症)								1					1
結合組織の疾患	M43	その他の変形性脊柱障害										13			13
(M00-M99)	M46	その他の炎症性脊椎障害										11			11
	M47	脊椎症	1							1		49			51
	M48	その他の脊椎障害										175			175
	M50	頸部椎間板障害										6			6
	M51	その他の椎間板障害	1									97			98
	M54	背部痛	1									3	1		5
	M60	筋炎												1	1
	M62	その他の筋障害									1			2	3
	M65	滑膜炎および腱鞘炎										3			3
	M67	滑膜および腱のその他の障害										9			9
	M72	線維芽細胞性障害									1	13			14
	M79	その他の軟部組織障害、他に分類されないもの	1										1		2
	M80	骨粗しょう<鬆>症<オステオポローシス>、病的骨折を伴うもの								3		7	2		12
	M84	骨の癒合障害										19			19
	M86	骨髄炎										4			4
	M87	骨え<壊>死										13			13
	M89	その他の骨障害	2									1			3
	M93	その他の骨軟骨障害										4			4
	M99	生体力学的傷害、他に分類されないもの										5			5
	N02	反復性および持続性血尿									6				6
	N03	慢性腎炎症候群									9				9
	N04	ネフローゼ症候群									5				5
	N05	詳細不明の腎炎症候群									1				1
	N08	他に分類される疾患における糸球体障害									3		1		4
	N10	急性尿細管間質性腎炎		1				2		8			28		39
	N12	尿細管間質性腎炎、急性または慢性と明示されないもの		1									1		2
	N13	閉塞性尿路疾患および逆流性尿路疾患						1		2					3
	N14	薬物および重金属により誘発された尿細管間質および尿細管の病態									1				1
第XIV章	N17	急性腎不全							1	2	4				7
尿路性器系の疾患	N18	慢性腎不全							1		55		2		58
(N00-N99)	N20	腎結石および尿管結石						1		1			2		4
	N28	腎および尿管のその他の障害、他に分類されないもの								1					1
	N30	膀胱炎		1						3					4
	N32	その他の膀胱障害								1			1		2
	N39	尿路系のその他の障害		2		3		1	4	11	1		7		29
	N41	前立腺の炎症性疾患									1				1
	N70	卵管炎および卵巣炎		1											1
	N73	その他の女性骨盤炎症性疾患											1		1
	N93	子宮および膣のその他の異常出血								1			1		2
	N94	女性性器および月経周期に関連する疼痛およびその他の病態								1			1		2
第XVII章	Q43	腸のその他の先天奇形		1											1
先天奇形,変形および	Q44	胆のう<嚢>、胆管および肝の先天奇形		3						1					4
染色体異常	Q66	足の先天(性)変形										3			3
(Q00-Q99)	Q85	母斑症、他に分類されないもの								2					2
第XVIII章 症状、徴候および異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されないもの	R04	気道からの出血						1		1					2
	S00	頭部の表在損傷							1				1		2
	S01	頭部の開放創									1				1
	S02	頭蓋骨および顔面骨の骨折									1				1
	S06	頭蓋内損傷								1	1			1	3
	S12	頸部の骨折										2			2
	S13	頸部の関節および靭帯の脱臼、捻挫およびストレイン		2		1									3
	S14	頸部の神経および脊髄の損傷										1			1
	S21	胸部<郭>の開放創		1											1
	S22	肋骨、胸骨および胸椎骨折		1						1		20	3		25
	S27	その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷						1							1
	S30	腹部、下背部および骨盤部の表在損傷										2			2
	S32	腰椎および骨盤の骨折								1		49	2		52
	S33	腰椎および骨盤の関節および靭帯の脱臼、捻挫およびストレイン	1												1
	S42	肩および上腕の骨折										12	1		13
	S46	肩および上腕の筋および腱の損傷										24			24
	S49	肩および上腕のその他および詳細不明の損傷										1			1
	S52	前腕の骨折										24			24
	S53	肘の関節および靭帯の脱臼、捻挫およびストレイン										3			3
	S54	前腕の神経損傷	2												2
	S56	前腕の筋および腱の損傷										3			3
	S62	手首および手の骨折										14			14
	S63	手首および手の関節および靭帯の脱臼、捻挫およびストレイン										3			3
	S66	手首および手の筋および腱の損傷										1			1

第ⅩⅨ章 損傷,中毒および その他の外因の影響 （S00-T98）	S70	股関節部および大腿の表在損傷										1			1
	S72	大腿骨骨折		2							1	38	1		42
	S80	下腿の表在損傷		1									1		2
	S82	下腿の骨折、足首を含む										15			15
	S83	膝の関節および靭帯の脱臼、捻挫およびストレイン										44			44
	S86	下腿の筋および腱の損傷										1			1
	S89	下腿のその他および詳細不明の損傷										1			1
	S92	足の骨折、足首を除く										3			3
	S93	足首および足の関節および靭帯の脱臼、捻挫およびストレイン										4			4
	T02	多部位の骨折										2		1	3
	T09	脊椎および体幹のその他の損傷、部位不明										1			1
	T17	気道内異物											1		1
	T18	消化管内異物								3					3
	T29	多部位の熱傷および腐食											1		1
	T42	抗てんかん薬、鎮静・催眠薬および抗パーキンソン病薬による中毒											1		1
	T43	向精神薬による中毒、他に分類されないもの						1							1
	T50	利尿薬、その他および詳細不明の薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒										1			1
	T67	熱および光線の作用		2				1					5	1	9
	T75	その他の外因の作用		1				1							2
	T78	有害作用、他に分類されないもの								1	1				2
	T81	処置の合併症、他に分類されないもの		3						14		7	1		25
	T82	心臓および血管プロステーシス、挿入物および移植片の合併症		1					4						5
	T84	体内整形外科的プロステーシス、挿入物および移植片の合併症										12			12
	T85	その他の体内プロステーシス、挿入物および移植片の合併症		1							3	1	2		7
	T86	移植臓器および組織の不全および拒絶反応									1				1
	T88	外科的および内科的ケアのその他の合併症、他に分類されないもの					1				1				2
	T90	頭部損傷の続発・後遺症		1											1
	T91	頸部および体幹損傷の続発・後遺症										3			3
第ⅩⅩⅡ章 特殊目的用コード （U00-U89）	U07	エマージェンシーコード U07				4		67	3	6	9		11		100

2021年4月退院患者～2022年3月退院患者対

令和２年度 南風病院 病院指標

医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）

1. 年齢階級別退院患者数
2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位５位まで）
3. 初発の５大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数
4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等
5. 脳梗塞の患者数等
6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位５位まで）
7. その他（ＤＩＣ、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

年齢階級別退院患者数

ファイルをダウンロード

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	2	108	95	146	292	541	1242	1717	1329	447

当院は「ひとにやさしく、あたたかく」を理念に鹿児島保健医療圏の中核的医療機関として、救急告示病院、県がん診療指定病院、地域医療支援病院、へき地医療拠点病院、基幹型臨床研修病院の指定を受けております。「がん医療」については、がん検診から診断、治療、緩和医療までを提供できる診療体制を構築しており、科学の進歩にそった医療の提供に努めております。また、超高齢化社会に伴い脊椎・脊髄疾患や変形性膝関節症・股関節症がさらに増加することが見込まれているため整形医外科分野では、院内の体制を充実し地域から多くの紹介を受入れ、専門医・専門スタッフによる診断、治療、手術、リハビリ等、質の高い医療の提供をめざし、生活習慣病や複数の合併疾患を持つ患者様、透析を必要とする患者様についても積極的に診療をおこなっています。当院の患者様の年齢構成としては70歳以上が過半数を占めます。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位５位まで）

ファイルをダウンロード

■ 消化器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎	162	7.02	9.53	6.17	75.23	
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	98	2.86	2.66	0	69.07	
06007xxx97x00x	膵臓、脾臓の腫瘍	57	11.51	12.33	0	73.21	
060102xx99xxxx	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	51	4.88	7.74	5.88	71.39	
060140xx97x0xx	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）	50	9.16	10.83	18	75.26	

当科の診療の3本柱は、①消化管（食道・胃・大腸）癌、②胆膵疾患、③消化器救急です。消化管癌の術前精査はほとんど外来で行っているため、診断群分類上位には上がっていません。
入院患者の診断群分類で最も多いのが胆管結石・胆管炎です。ESTやEPLBD、ENBDなどの内視鏡的手術で安全・確実な治療を行っています。
次に多い診断群分類が、小腸大腸の良性疾患となっています。大腸ポリープ切除の多くは外来で治療しますが、大きな病変や数が多い場合は術後1泊入院する場合があります。また、高齢者は前処置段階から入院で大腸内視鏡を行う場合があります。
また、膵腫瘍が、診断群分類の3番目に入っています。当院では膵癌早期発見プロジェクトを2013年から行っており、その結果早期膵癌をはじめ数多くの膵腫瘍を発見し、精査・治療を行っており、その成果と考えます。
診断群分類の４番目に憩室疾患、５番目に胃十二指腸潰瘍が入っていますが、１番目の胆管炎を含め、当科が消化器救急に取り組んできた結果と考えます。
② 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

■ 外科・消化器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
060335xx02000x	胆嚢炎等	104	6.82	7.23	3.85	62.92	
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア（15歳以上）	90	5.04	4.86	0	67.89	

060035xx010x0x	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍	67	17.12	16.19	7.46	71.03	
040040xx97x00x	肺の悪性腫瘍	50	13.98	10.83	4	72.02	
060330xx02xxxx	胆嚢疾患（胆嚢結石など）	48	5.4	6.41	0	57.69	

当院では消化器疾患・呼吸器疾患に対して外科治療を行っております。手術は鏡視下手術が主流となっており、良性疾患だけでなく、食道癌・胃癌・十二指腸癌・膵癌・胆管-胆嚢癌・肝癌・結腸癌・直腸癌・小腸癌・肺癌に対して第一選択となっています。近年、膵癌症例が多くなっており2020年度の手術症例は33件でした。全身麻酔の手術件数は823例でした。良性疾患の手術症例は胆石・胆嚢炎168件、鼠径・大腿ヘルニア97件、虫垂炎58件、腸閉塞47件、消化管穿孔25件でした。悪性疾患では、食道癌8件、胃癌52件、結腸癌111件、直腸癌46件、膵癌33件、胆管-胆嚢癌11件、肝癌25件、肺癌55件となっています。また当院は救急にも対応しており、24時間体制で緊急手術を実施しています。

■ 整形外科・小児整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
070343xx97x1xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）　腰部骨盤、不安定椎	106	17.17	19.22	30.19	73.52	
07040xxx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。）	101	19.42	21.03	26.73	68.35	
070230xx01xxxx	膝関節症（変形性を含む。）	84	22.14	23.36	46.43	75.74	
160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折	65	20.62	25.09	84.62	83.89	
070341xx020xxx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）　頸部	42	25.14	19.90	61.9	69.12	

「職場や家庭で活動するにあたり障害となっている症状を取り除き、快適な日常生活が送れるように」を治療方針とし、整形外科全般の治療を行なっていますが、特に当院では脊椎疾患、関節疾患、手外科、足外科、小児外科、骨折、創傷ケアに対する治療が中心です。症状の重症度や年齢、職業、家庭環境などを考慮しながら薬物療法・装具療法・ブロック療法・リハビリ等の保存的治療を行なった上で効果が得られず、日常生活を行なう上で支障が大きいと判断した場合は手術を行なっています。当院は循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科（人工透析）・糖尿病内分泌内科などの各科の専門医や認定看護師などコメデイカルの協力により、合併症を有する患者さんに対しても最善の治療が受けられるように努めています。2019年度から外来を「脊椎センター」「関節再建／人工関節センター」「九州腰痛・仙腸関節センター」に再編し、それぞれ専門的な診察、治療ができるように体制を整えました。

■ 呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍	36	6.92	3.39	0	68.97	
040110xxxxx0xx	間質性肺炎	32	24.06	18.61	15.62	69.97	
040040xx99040x	肺の悪性腫瘍	30	10.13	9.42	0	69.5	
040040xx99041x	肺の悪性腫瘍	21	19	15.61	0	71.05	
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎	13	16.46	20.51	30.77	82.85	

呼吸器内科では、肺がんの患者様の化学療法目的の入院が最も多くを占めています。その他の疾患では、間質性肺炎の増悪による入院も多い状況です。慢性閉塞性肺疾患の増悪や肺炎、気管支喘息の入院については、ガイドラインに基づき適切な治療を行っています。
肺がんが疑われる患者様の増加に対して、新しい気管支内視鏡の導入を行ない、肺がんの診断の精度向上を行っています。

■ 肝臓内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	229	12.92	10.70	2.18	75.59	
060050xx031xxx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	46	12.87	14.45	0	75.93	
060300xx99x00x	肝硬変（胆汁性肝硬変を含む。）	27	14.81	11.63	3.7	70.52	
060050xx99000x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	22	11.68	8.65	9.09	66	

060050xx99040x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	21	13.24	10.15	0	73.43	

ウイルス性肝炎・肝細胞癌・肝不全の系統的診断・治療を目指しています。また、他科との連携により、肝細胞癌に対する全ての治療選択肢を備えており、肝移植についても対応できるような連携体制を整えています。肝癌に対しての治療法として、経皮的エタノール注入療法（PEIT）、経皮的ラジオ波焼灼療法（RFA）、経カテーテル的肝動脈塞栓術（TAE）、肝動注用リザーバー埋め込み術 を対応しています。
肝癌におけるこのような血管塞栓術を用いた治療実績の件数は下記で述べるように、十分な経験と実績のもとに施行しています。

■ 循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
050130xx9900xx	心不全	80	19.7	17.23	5	84.9	
050210xx97000x	徐脈性不整脈	13	12.46	10.56	15.38	82.54	
050070xx9900xx	頻脈性不整脈	-	-	7.09	-	-	
050130xx97000x	心不全	-	-	22.43	-	-	
0400801499x012	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上）	-	-	18.48	-	-	

近年、心不全で入院する患者さんは全国的に年々増加しています。循環器疾患診療実態調査（JROAD）によると2019年の１年間に全国で29万人が心不全のため入院しました。当科では特に80歳以上の高齢の心不全患者さんの入院が増加していますが、入院時に心エコーを含めて心機能や合併症の評価を十分に行い，心機能や重症度に応じて利尿剤、血管拡張剤、カテコールアミンなどの薬剤を適切に使用して治療にあたっています。呼吸状態の悪い患者さんに対しては非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）を積極的に使用しています。前述の通り、高齢の心不全患者さんが多いため、むくみや息切れなどの症状をできるだけ早く改善させ、早期にリハビリを開始して日常生活動作が低下しないようにケアしています。
さらに、当院ではがん患者さんや整形外科疾患の手術が多く、術前、術後、がん化学療法中の静脈血栓塞栓症の患者さんが年々増加しています。血液検査、下肢静脈エコーや造影CTを用いて適切に診断し、必要な患者さんには積極的に抗凝固療法を施行しています。

■ 腎臓内科・人工透析内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	21	19.67	11.04	4.76	63.95	
110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	12	25.25	33.50	8.33	64.42	
110280xx9901xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	12	12	14.01	16.67	64.17	
110280xx97x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	10	22.7	24.80	40	71.4	
110260xx99x0xx	ネフローゼ症候群	-	-	20.56	-	-	

当院では地域の診療所および当院の各科と連携し、腎疾患の早期発見と早期治療に取り組んでいます。
当院の特徴として、腎疾患だけでなく合併症を伴っていた場合でも、
併設の呼吸器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科、肝臓内科等とスピーディーに連携を図りながら
包括的な治療を行うことが可能です。
CKDネットワークの基幹病院として慢性腎臓病の患者様の診療を行っています。可能な限り長く腎機能を保持できるように栄養指導、生活指導を受けて頂き、かかりつけ医の先生と連携して合併症の治療を行っています。
腎不全診療においては、患者様のライフスタイルにあわせて、血液透析、腹膜透析、腎移植から最適な治療法を選択して頂いています。療法選択にあたり、医師だけでなく看護師、栄養士、臨床工学技士などそれぞれのエキスパートから意見を聞く機会を設けており、治療開始後の生活を具体的にイメージすることが可能です。

■ 脳神経内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
010160xx99x00x	パーキンソン病	26	15.04	18.20	3.85	78.85	
010170xx99x00x	基底核等の変性疾患	-	-	14.56	-	-	

010060x2990400	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満）	-	-	19.18	-	-	
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症	-	-	13.00	-	-	
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎	-	-	20.51	-	-	

脳神経内科は、脳血管障害・髄膜炎・脳症・てんかんなどの急性の脳疾患、認知症・パーキンソン病・脊髄小脳変性症などの慢性の脳疾患、手足のしびれや筋力低下をきたす脊髄や末梢神経・筋肉の病気など、神経系全般の疾患に対応する診療科です。
当科では、急性期脳血管障害に対する血栓溶解療法や、意識障害・てんかん発作、脳炎に対する急性期医療にも積極的に取り組み、実績を上げています。脳疾患の場合、初期に精度の高い診断をすることが、予後を左右することが多いため、当院ではCT, MRI, 脳波、髄液検査などを速やかに行える体制を作り対応しています。
脳神経内科のもう一つの役割は、パーキンソン病などの神経変性疾患への対応です。特に、パーキンソン病は、高齢化に伴い急速に増加しており、当科にも300名近くの患者さんが通院しています。パーキンソン病は、血液検査やMRI検査では診断がつかないため、脳神経内科以外の病院や診療科を受診しても、しばしば見逃されることの多い病気です。 当科では、丁寧な病歴聴取・神経学的診察を基に、多くの患者を発見しています。2020年には脳神経内科を中心に「パーキンソン病・運動障害疾患センター」を開設しました。
2017年秋からは、パーキンソン病に対してアメリカで開発されたリハビリプログラム（リー・シルバーマン法）を導入し、体の動きやしゃべり方のリハビリも始めています。
2019年からDuoDOPA療法も開始しており、従来治療困難であった進行期パーキンソン病にも目覚ましい効果を挙げています。
脊髄、末梢神経、筋肉の病気も、神経内科の領域です。当院ではMRI、電気生理検査などで、的確な診断が可能です。整形外科的手術が必要な方は、当院の脊椎・関節センターの医師と連携し対応します。緊急治療が必要な脊髄炎、ギランバレー症候群などに対しては、ステロイド療法、免疫グロブリン静注療法などの経験も豊富です。

■ 糖尿病・内分泌内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
10007xxxxxx1xx	２型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	50	14.58	14.60	4	68.5	
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症	29	12.21	13.00	20.69	80.07	
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎	28	21.14	20.51	25	88.32	
060380xxxxx00x	ウイルス性腸炎	25	4.08	5.86	0	62.44	
030400xx99xxxx	前庭機能障害	12	4.17	4.94	0	74.75	

1型および2型糖尿病の薬物療法（インスリン注射、経口血糖降下薬）、食事指導、運動指導をチーム医療として行っています。1～2週間程度の教育入院も可能です。また、高血糖緊急症と低血糖症の救急治療も積極的に行っています。「糖尿病教室」を月2回公開し、糖尿病治療や健康増進についての指導を行っています。さらに、バセドウ病、甲状腺機能低下症の治療、甲状腺腫瘍の細胞診、下垂体・副腎疾患の画像診断と治療を行っています。ナトリウム、カリウム、カルシウムなどの電解質異常についても専門的治療が可能です。

■ ペインクリニック内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
010111xxxxx0xx	遺伝性ニューロパチー	64	26.17	12.47	1.56	71.03	
010310xx99x0xx	脳の障害（その他）	29	12.28	10.27	0	34.48	
07034xxx99xx0x	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）	19	18	11.12	5.26	50.63	
010120xx99xxxx	特発性（単）ニューロパチー	-	-	6.99	-	-	
071030xx99xx0x	その他の筋骨格系・結合組織の疾患	-	-	9.14	-	-	

ペインクリニック内科の対象疾患は帯状疱疹痛・帯状疱疹後神経痛や椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄など脊椎疾患による痛みなどが多く，ほかに三叉神経痛，手術後に遷延する痛み，低髄液圧症（脳脊髄液漏出症）など様々です。表にある【遺伝性ニューロパチー】の多くは帯状疱疹後神経痛の患者であり，【脊柱管狭窄（脊椎症を含む）】の多くは頚部や腰部の脊椎変形や椎間板ヘルニアによる神経痛の患者です。各種神経ブロック療法や薬物療法を併用しながら治療を行いますが効果にはばらつきがあるため患者毎に注意深く経過を見ながら調整して行っています。【脳の障害】は低髄液圧症・脳脊髄液漏出症の患者です。むち打ち損傷などの交通事故やスポーツ事故後から，あるいは原因なく頭痛や嘔気，めまいなどが続く患者で，MRIやCTによる検査と併行して治療を行っています。ブラッドパッチ（硬膜外自家血注入療法）は代表的治療法ですが2016年度から診断基準を満たす患者では保険適用となっています。当科では毎年20-30名の患者にブラッドパッチを実施しています。

■ 脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数	平均在院日数	転院率	平均年齢	患者用パス

			（自院）	（全国）			
010240xxxxxxxx	片頭痛、頭痛症候群（その他）	-	-	5.79	-	-	
01021xxxxx1xxx	認知症	-	-	19.40	-	-	
010230xx99x00x	てんかん	-	-	7.48	-	-	
030400xx99xxxx	前庭機能障害	-	-	4.94	-	-	

脳神経外科一般、頭痛、認知症に対し、ガイドラインなどを重視した標準的医療を基本とし、個々の患者さんに最も適切な医療の提供をめざします。
頭痛外来では、片頭痛や緊張型頭痛だけでなく、鎮痛薬の飲み過ぎでおこる薬物乱用頭痛など、幅広い領域の頭痛診療に取り組んでいます。もの忘れ外来では、認知症の早期診断・早期治療を目標にかかげて診断、治療を行っています。特にMRI（エムアールアイ）やSPECT（スペクト）などの画像診断は最新のシステムを導入しており、多くの病院からご紹介をいただいています。

■緩和ケア内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
060040xx99x00x	直腸肛門（直腸Ｓ状部から肛門）の悪性腫瘍	-	-	9.53	-	-	
010010xx9900xx	脳腫瘍	-	-	11.50	-	-	
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍	-	-	13.30	-	-	
060020xx99x0xx	胃の悪性腫瘍	-	-	10.73	-	-	
06007xxx9900xx	膵臓、脾臓の腫瘍	-	-	11.24	-	-	

多くのがんに対して専門の医療スタッフが患者さん一人一人に向き合いながら懸命に治療に取り組んでいます。がんと診断されたときから患者さん、そのご家族はさまざまな苦痛を感じることになります。このコロナ禍における閉塞感はさらに患者さんを不安にさせ、今までになかった苦痛を感じさせているでしょう。緩和ケア内科においても患者さんや家族との関わりを制限せざるえない環境のもと、そのあり方を考えなくてはなりませんでした。制限された環境の中で不安を抱えるがん患者さんに対して、ときには医療者として、ときには思うように会えない家族の代わりに最期まで寄り添っていきたいと思います。そしていつの日かこの制限が解除され、本来の緩和ケアを患者さんとそのご家族に提供できる日が来ることを心から祈っています。

初発の５大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

ファイルをダウンロード

	初発					再発	病期分類基準（※）	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	59	23	14	42	9	54	1	8
大腸癌	42	70	49	33	18	65	1	8
乳癌	1	1	2	0	1	0	1	8
肺癌	41	15	22	65	3	69	1	8
肝癌	26	17	17	9	1	314	1	8

※ 1：UICC TNM分類，2：癌取扱い規約

成人市中肺炎の重症度別患者数等

ファイルをダウンロード

	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	7	10.14	62.71
中等症	71	13.39	81.93
重症	15	16.4	85.33
超重症	2	9	86
不明	0	0	0

脳梗塞の患者数等 ファイルをダウンロード

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	34	24.09	79.15	14.29
その他	8	25.5	82.75	9.52

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位５位まで） ファイルをダウンロード

■ 消化器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	155	1.74	10.09	9.68	77.04	
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径２ｃｍ未満）	114	1.09	2.02	0	69.46	
K6872	内視鏡的乳頭切開術（胆道砕石術を伴う）	72	1.44	4.86	5.56	73.81	
K654	内視鏡的消化管止血術	71	0.76	9.08	18.31	74.41	
K722	小腸結腸内視鏡的止血術	62	1.19	5.66	11.29	77.6	

当科で行う手術のほとんどは内視鏡的な手術です。
最も多い内視鏡的胆道ステント留置術は、膵頭部癌や胆管癌あるいは胆管結石による胆管狭窄に対して行う手術です。ERBDやEMSだけでなく、EUS-BD(HGS・CDS)も行っています。また、３番目の内視鏡的乳頭切開術（EST）ですが、これまで結石除去できずにERBDで対応していたような巨大結石・積み上げ結石も、胆道鏡（SPYGRASS）＋EHLで砕石・除去できるようになりました。胃全摘術後や胆管空腸吻合術後症例における胆管狭窄や胆管結石に対しては、バルーン内視鏡下に同様の治療が可能です。
２番目に多い大腸ポリープ切除の多くは、前述の通り外来で行っています。EMR、CSP、CFPのほか、大腸のESDも行っています。
４番目と５番目に内視鏡的消化管止血術、小腸結腸内視鏡的止血術が入っていますが、当科が消化器救急に努力している結果です。
欄外になりますが、胃のESD症例は、県内では有数の症例数です。潰瘍瘢痕を伴う症例など難易度の高いESDも積極的に行っています。
そのほか、食道・大腸のESDも数多く行っており、リスクの高い十二指腸腫瘍や胃GIST症例の一部はLECS(腹腔鏡・内視鏡合同手術)による安全で負担の軽い治療を行っています。

■ 外科・消化器外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	170	1.54	4.97	4.71	62.74	
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	87	1.24	2.75	0	67.24	
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	71	3.99	12.8	9.86	70.76	
K740-22	腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術・手術用支援機器使用）	32	3.13	20.5	0	65.56	
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	29	0.31	4.41	0	44.97	

消化器・呼吸器領域に鏡視下手術を導入することで、できるだけ小さな傷跡・最小限の出血・術後合併症の減少・入院期間の短縮・早期社会復帰を目指しております。また当院では日本内視鏡外科学会の技術認定医取得を推進しており、現在３名のエキスパートが在籍しています。更に当院ではロボット支援下手術を胃癌・直腸癌の標準術式としており、2016年度以降2021年3月までに胃癌107件、直腸癌111件の実績があります。（ロボット支援下手術は厚生省により施設基準が決められており、当院はその基準をクリアしているので保険診療で治療を受けることが可能です。）

■ 整形外科・小児整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0821	人工関節置換術　肩、股、膝	195	1.49	18.47	36.41	71.96	
K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）（椎弓形成）	151	2.54	16.42	37.75	71.79	
K0461	骨折観血的手術（大腿）	44	2.07	18.75	79.55	81.45	

K1425	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓切除）	32	2.13	16.09	34.38	70.69	
K069-3	関節鏡下半月板縫合術	30	0.9	17.57	16.67	41.8	

脊椎疾患に対する手術は県内でもトップクラスの件数、成績です。疾患や症状に応じて内視鏡下手術（MED）や脊椎インストゥルメントを用いた脊椎固定術も行なっています。2019年からは腰椎椎間板ヘルニアに対しコンドリアーゼの椎間板内注入療法も行なっており、1泊入院で済み、患者さんの負担も軽く、まずまずの成績が得られています。関節疾患については手指、肘、肩および股、膝関節に対し人工関節置換や骨切りによる関節形成術を行なっていますが、さらにMIS（最小侵襲手術）や手術支援ナビゲーションシステムを導入し、侵襲が少なく正確な手術を行なうことで早期の社会復帰を目指すことができるように努めています。2020年からは保険診療外ですが、変形性膝関節症に対し、患者さんご自身の血液を採取し、炎症を抑えるタンパク質と軟骨の健康を守る成長因子を高濃度に抽出し関節内に注入するAPS療法も開始しました。また高齢者の方に多い大腿骨骨折や上腕、手関節の骨折に対する手術も多く行なっていますが、できるだけ受傷から間を開けず、行なうことで早期のリハビリ、社会復帰を促すように心がけています。当院での治療後に転院でのリハビリが必要な場合は紹介元や連携医療機関、施設と綿密に連携し、残った症状に応じた適切な医療が受けられ、患者さんの日常生活が少しでも豊かになるように努めています。

■ 呼吸器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K654	内視鏡的消化管止血術	-	-	-	-	-	
K060-31	化膿性又は結核性関節炎掻爬術（股）	-	-	-	-	-	
K6113	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	-	-	-	-	-	
K637-2	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	-	-	-	-	-	
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径２ｃｍ未満）	-	-	-	-	-	

■ 肝臓内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6152	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（選択的動脈化学塞栓術）	228	2.19	10.25	3.07	75.72	
K697-31	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（２ｃｍ以内）（その他）	44	6.82	3.43	0	75.3	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	10	4.1	18.5	0	77	
K697-32	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（２ｃｍを超える）（その他）	-	-	-	-	-	
K654	内視鏡的消化管止血術	-	-	-	-	-	

肝癌に対する血管塞栓術、ラジオ波焼灼療法では多くの実績を有しており、年間260件以上実施しています。他科の協力により肝細胞癌に対する多くの治療選択肢を揃えており、また肝移植にも対応できるような連携体制も整えております。

■ 循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5972	ペースメーカー移植術（経静脈電極）	-	-	-	-	-	
K597-2	ペースメーカー交換術	-	-	-	-	-	
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	-	-	-	-	-	
K596	体外ペースメーキング術	-	-	-	-	-	
K654	内視鏡的消化管止血術	-	-	-	-	-	

■ 腎臓内科・人工透析内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6121イ	末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）（単純）	18	10.89	12	5.56	65.17	
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径２ｃｍ未満）	-	-	-	-	-	
K635-3	連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	-	-	-	-	-	
K610-3	内シャント設置術	-	-	-	-	-	
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	-	-	-	-	-	

当院腎臓内科では透析導入のための内シャント設置術や、細くなった血管を拡げるための経皮的シャント拡張術にも対応しています。患者さまの生活環境を最優先に考え、それぞれにあった治療方針を決定してまいります。

■ 脳神経内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	-	-	-	-	-	
K6262	リンパ節摘出術（長径３ｃｍ以上）	-	-	-	-	-	
K664-3	薬剤投与用胃瘻造設術	-	-	-	-	-	

■ 糖尿病・内分泌内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	-	-	-	-	-	
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径２ｃｍ未満）	-	-	-	-	-	
K0461	骨折観血的手術（大腿）	-	-	-	-	-	
K6182	中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	-	-	-	-	-	
K735-4	下部消化管ステント留置術	-	-	-	-	-	

■ ペインクリニック内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K1901	脊髄刺激装置植込術（脊髄刺激電極を留置）	-	-	-	-	-	
K716-22	腹腔鏡下小腸切除術（その他）	-	-	-	-	-	

通常の薬物療法や神経ブロック療法による効果が不十分で日常生活にも支障を来たしている難治性疼痛の患者に対して脊髄刺激装置植込み術を行うことがあります。帯状疱疹後神経痛や脊椎疾患による神経痛の患者が主ですが，刺激装置を2-3週間一時的に留置して治療を行う場合もあれば心臓ペースメーカのように刺激装置を植込んで行うこともあります。新型コロナ感染流行による施行上の制約があり令和2年度は1名のみの実施となりました。

■ 緩和ケア内科

Kコード	名称	患者数	平均	平均	転院率	平均年齢	患者用パス

			術前日数	術後日数			
K735-4	下部消化管ステント留置術	-	-	-	-	-	

その他（ＤＩＣ、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

ファイルをダウンロード

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	2	0.03
		異なる	16	0.27
180010	敗血症	同一	12	0.2
		異なる	15	0.25
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0
		異なる	3	0.05
180040	手術・処置等の合併症	同一	44	0.75
		異なる	13	0.22

更新履歴

2021/09/30　　南風病院病院情報を公開しました。

2021年度　年報

公益社団法人鹿児島共済会
発行　南風病院

www.nanpuh.or.jp